

NPO法人フォトカルチャー倶楽部 [コミュニティ情報誌]

フォトライフ

四季

Vol.82
AUTUMN

秋

会員71,437名の皆さんの力で社会貢献しています。

(2012年7月31日現在)

フォトカルチャー倶楽部。

撮りためておきたい 見逃せない秋

秋日の思い出を残す

写真家の道具論

撮影モードは「こころ優先」が基本

イベントを開催してほしい都道府県を大募集

PCC 撮影イベント「このゆびとまれ」

新年はこれで人と差をつける

一步先ゆく写真年賀状のアイデア

365日フォトコンテスト2011秋冬

何が撮りたくて
何を伝えたいか考える



みんなで新しい写真体験を

フォトカルチャー倶楽部 (PCC) は会員の皆様のご支援で、さまざまな社会貢献・文化貢献・環境保護貢献をしています
美しい地球を写そう。美しい地球を守ろう。写真で人の絆を深めて、すべての生き物と共生しよう

会員の皆さんの写真で表紙を飾ろう！
作品投稿お待ちしております。

(応募は⇒P48)

<http://www.kitamura.jp/photo/shiki/>

フォトライフ四季

フォトライフ四季ホームページでは、
取材の裏側がのぞけます

上の写真：「秋の苗名滝-遠景-」

田辺 強さん(新潟県)

赤く染まる山に囲まれた苗名滝の雄大な姿をおさめました。妊娠中の妻と自然の力をもらうため、出かけた家族旅行での記録です。曇りつない晴天のなか、吊橋に人が通るのを三脚を立てて待ちました。被写体をねらいすぎるとい写真が撮れないのであまり考えすぎずに、撮影をしていきます。

ニコンD300S、AF-S VR18-200mm、F8、1/20秒、新潟県妙高市、2010.11.7

「カメラのキタムラフォトコンテス2010秋冬」より

表紙：「the Milky way」

林 昌幸さん(徳島県)

熊が出るほどの山奥でススキを見つけた。天の川と一緒に撮りたいと思い1年間待って、この写真を撮りました。ストロボを使って撮影していたところ、偶然通りかかった車のライトでススキが黄金に輝きました。ススキも天の川もそのときの自然次第。気ままに、自然のままに撮ることを大切にしていきたいです。

キヤノンEOS 50D、EF-S10-22mm、F4、6分、徳島県神山町、2010.9.9

「カメラのキタムラフォトコンテス2010秋冬」より

衝撃、 36.3 メガピクセル。



At the heart of the image

デジタル一眼レフカメラ

D800
NEW

D800E
NEW

圧倒的な高画素

- 世界最高*有効画素数36.3メガピクセル
 - 新開発ニコン FX フォーマットCMOSセンサー
 - 常用感度 ISO 100~6400 (ISO 50~25600まで拡張可能)
 - 画像処理エンジン EXPEED 3
 - 91KピクセルRGBセンサー採用のアドバンスドシーン認識システム
 - 2つの撮像範囲が選択できるマルチエリアモードフルHD Dムービー
 - ガラスペンタプリズム使用、視野率約100%のファインダー
- *2012年2月7日現在。35mmフィルムサイズに準じた撮像素子搭載のレンズ交換式デジタル一眼レフカメラにおいて。

さらなる高解像モデル D800E NIKKOR レンズからの光を直接的にフォトダイオードへ導いて、解像力を最大限に引き出す。

D800Eボディ 価格：オープンブライズ D800 28-300 VRレンズキット 価格：オープンブライズ 内容：D800・AF-S NIKKOR 28-300mm f/3.5-5.6G ED VR
○オープンブライズ商品の価格は販売店にお問い合わせください。



7000万本
NIKKOR

ニコンカスタマーサポートセンター
0570-02-8000

一般電話、公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。営業時間9:30~18:00(年末年始、夏期休業等を除く毎日) ●ナビダイヤルがご利用いただけません。●お問い合わせは、(03) 6702-0577におかけください。 ●ファクシミリのご相談は、(03) 5977-7499へご連絡ください。

www.nikon-image.com | 株式会社 ニコン・株式会社 ニコン イメージング ジャパン

[POWER OF
PHOTOGRAPH]

写真の力

水谷章人『極限の形象』より

「乱戦^{またた}の瞬き」

全日本剣道選手権大会
写真：水谷章人

剣道の勝敗は一瞬で決まる。今のデジタルカメラでは、その瞬間を切り取るのはむずかしい。あえてスローシャッターを使い、剣道をイメージで表現した。この写真は試合のなかで床の色を際立たせている。ブレはいくら考えても計算通りにはいかない。運命の瞬間は偶然につくられるものだ。予測できないスポーツを芸術にする。それが写真家の技だ。



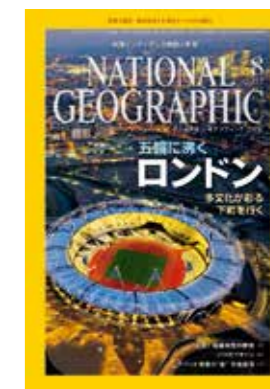
'65年東京総合写真専門学校を卒業。'70年に富士フォトサロンで個展「限界に挑むスキー」を開き、これをきっかけにさまざまなスポーツの一瞬をクローズアップして表現する作品を多数発表。'93年に日本スポーツプレス協会会長に就任。'01年からはJCIスポーツ写真プロ育成セミナー「水谷塾」を主宰。主な受賞歴に講談社出版文化賞(81年)、日本写真協会作家賞(07年)など。

キヤノン EOS-1D、400mm、F9、1/15秒、ISO100、東京都



【POWER OF PHOTOGRAPH】
写真の力
『NATIONAL GEOGRAPHIC』より

©2012 Michael Melford/
National Geographic



雲間から差し込む光がハイ・ピークスと呼ばれる峰々を照らす。米国ニューヨーク州北東部にあるアディロンダック公園の一角には標高1200mを超える峰が40以上も連なる。伐採や工業によって荒廃していた森や水辺も、かつての姿を取り戻してきた。(『ナショナルジオグラフィック日本版』2011年9月号より)
<http://www.nationalgeographic.jp> ※表紙写真は2012年8月号





POWER OF
PHOTOGRAPH

写真の力

みんなで作る『フォトライフ四季』
編集部が選んだ今月の2枚



いまでしか、ここでしか

上の写真：「光葉の舞」

白井賢治さん(広島県)

自然、動物、建造物、人が見事に調和している宮島が大好きです。朝の光を浴びながら紅葉が落ちる様子は感動的で、鹿までもがその美しさにとれていました。

キヤノンEOS-1D Mark III、EF70-300mmIS、F5、AE、広島県廿日市市(宮島)、2010.11.27

「よみうり風景写真コンテスト2011」より

帰らぬ昔、知らぬ行く末

左の写真：「菊花の舞」

河野彰子さん(高知県)

夕方の明るい時間から夜が更けるのを待ち準備をしました。夜になり菊が一面に咲くなかで空が澄み、星が輝く風景はあたたかい空気をつくり出していました。

キヤノンEOS-1Ds Mark II、フィッシュアイ、F4、972秒、高知県香南市、2007.11.23

「カメラのキタムラフォトコンテスト2010秋冬」より

日本一のフォトコンテストは 365日チャンスがあります

応募総数が約10万点を超える全国最大規模の「365日フォトコンテスト」。「カメラのキタムラフォトコンテスト」が名前をかえてリニューアルしました。プロの写真家や専門家が全応募作品を審査しています。コンテストの上位入賞作品は、本誌や『フォトコンライフ』で随時掲載します。詳しくは→P39

色や構図はもちろん、大きなプリントで見たときのスケール感もポイント

風景部門

準特選



「天領寺(落葉の山)」
(大領寺)落葉の山
(青森県弘前市) 青柳博樹さん



「雲山を目指す」
(愛媛県今治市) 安野孝さん



「夕暮の町」
(東京都清瀬市) 中山八重子さん



「天空の神田」

河野影子さん(高知県香南市) 撮影地: 高知県
キヤノンEOS 1Ds Mark III

特選



「白霧の中の貴婦人」

石谷修三さん(茨城県竜ヶ崎) 撮影地: 栃木県
キヤノンEOS 5D Mark II、EF28-300mm、F16、1/100秒

作者が「何を撮りたかったか」伝わってくる作品が選ばれる

準特選



「服直しのおじさん」
(静岡県静岡市) 山田康さん



「五つ子の瞬間」
(大阪府大阪市) 北島弥生さん



「元氣一杯!!」
(北海道札幌市) 佐々木健一さん



「なかよし小学生」

浅岡由次さん(愛知県知立市) 撮影地: 愛知県
キヤノンEOS Kiss X4、EF70-200mm、F2.8、AE

人部門

特選



「ハイ! ポーズ」

高橋昌平さん(群馬県富岡市) 撮影地: 群馬県
ニコンD300、200mm、F2.8、AE

撮影を楽しみ、プリント方法も考えて一枚の“絵、をつくり出す

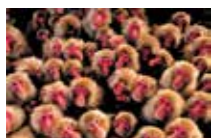
準特選



「林檎の煙き」
(長野県長野市) 増田恵さん



「過酷の中で」
(大阪府吹田市) 田中貴之さん



「注視」
(香川県三豊市) 石角尚義さん



「西陽が落ちる頃」

樋口雪江さん(茨城県つくばみらい市) 撮影地: 茨城県
キヤノンEOS 5D Mark II、EF24-105mm、F5.6、1/200秒

自由部門

特選



「冬の戦士 束の間の休息」

安島 博さん(宮城県仙台市) 撮影地: 福島県
キヤノンEOS 5D Mark II、EF24mm、F2、30秒

365日フォトコンテスト 2012 秋冬
作品募集

シャッターチャンスも応募のチャンスも365日!! 365日を通して、応募総数約10万点となる全国最大規模の写真コンテストです。全国約1000店舗のカメラのキタムラ店舗で受付しています(→P39)

【応募期間】

2012年11月15日(木)から
2013年3月15日(金)まで

【応募方法】

カメラのキタムラ店頭で受付いたします

【プリントサイズ】

腕自慢コース: 6切・W6切・A4・4切・W4切

腕だめしコース: はがきサイズ・2L・6切・

W6切・A4

【問合せ先】

カメラのキタムラ お客様なんでも相談室

TEL.050-3116-8888

365日フォトコンテスト 2011 秋冬

何が撮りたくて 何を伝えたいか考える

四季折々のワンシーンを切り取って応募する365日フォトコンテスト。
31,137点もの応募のなかから選ばれた上位作品は、
撮影者の気持ちが伝わってくるものばかりでした。

※ 腕自慢コース **人部門** グランプリは、応募者の申し入れにより辞退となりました。 **腕自慢**コース

総評

風景部門

写真を見たときのスケール感がポイント

審査員: 三好和義氏

写真家

純粋な風景から、田園や都会の風景まで、さまざまな作品がそろいました。「きれいだな、すごいな、どうやって撮ったのかな」「こういう所へ行ってみよう、こんな写真を撮ってみたい」と思わせてくれる作品を選びました。上位はどれも色や構図が洗練されていますが、大きなプリントで見たときの、スケール感も大事なポイントになります。見た人が気持ちを震わせ、ドキドキするような、ハッと心静かになるような作品が、上位に選ばれています。

人部門

伝わってくるものと作品が一致したものの

審査員: 田沼武能氏

写真家、(社)日本写真家協会会長

東京工芸大学芸術学部名誉教授、全日本写真連盟会長

NPO法人フォトカルチャー倶楽部顧問

最近ではカメラの性能がよくなり、レベルの高い作品が集まるようになりました。そんななかでも、何を撮っているのかよくわからない作品は、選考からはずれてしまいます。作者本人は撮ったときの心情も加算して作品を見るのですが、審査では、そういう加算が何もわからない状態で作品を見ます。最終的には写した内容から伝わってくるものと作品が一致したものが残り、さらにそのなかから作品として素敵なもの、すばらしいものが栄誉を勝ちとります。

自由部門

銀塩プリントの美しさ、自然さを理解する

審査員: 吉村和敏氏

写真家

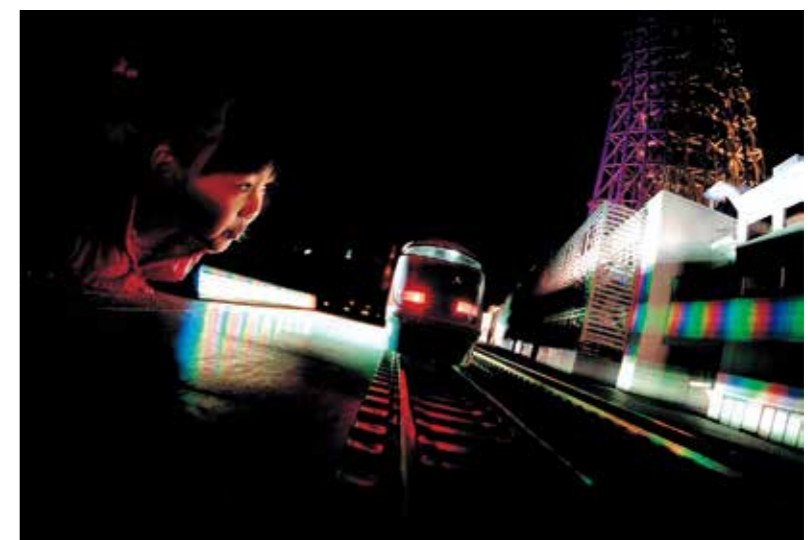
今年は、自分にしか撮れない作品をつくりたいという個性あふれるものが多かったように感じます。そして何より、今年はプリントがきれいになりました。お店のアドバイスをよく聞いていることを作品から感じます。時代はデジタルになりましたが、銀塩のプリントの美しさ、自然さを理解するようになってきたのではないのでしょうか。撮影を楽しむ、いい作品を生み出して、プリント方法も考えながら一枚の絵をつくり出している印象を受けました。



風景部門 **グランプリ**

「パール富士」 石川欽庸さん(神奈川県藤沢市)

撮影地: 神奈川県 キヤノンEOS 50D、100-400mm、F11、1/250秒



自由部門 **グランプリ**

「視線」 渡部久恵さん(栃木県宇都宮市)

撮影地: 栃木県 キヤノンEOS Kiss X2、10-17mm (フィッシュアイ)、F3.5、1/25秒



自由部門

グランプリ
「ひざし」

藤本昭三さん
(奈良県北葛城郡)
撮影地：大阪府

フジFinePix S3Pro、AF18-35mm、F8、AE

自分にしか撮れないシーンを大切に

審査員：川合麻紀氏
横浜生まれ。彩り写真家。雑誌、子ども、ペットフォトなどオールマイティ。TV出演、写真教室、写真雑誌執筆等、わかりやすい写真指導でも人気。

写真には、普段から身近なものを撮るという記録としての側面もあります。震災後、普段の生活の写真が実は一番大切なものと気づいた人も多いのではないのでしょうか。日常を撮った作品ほどオリジナリティに富んだものはありません。自分にしか撮れないシーンを大切に、作品づくりに励みましょう。

特選



「くだしやい」
石崎祐美さん(神奈川県横浜市)
撮影地：エアドル
キャノンPowerShot
SD900IS



「桜吹雪」
今野順公さん(山形県山形市)
撮影地：山形県
キャノンEOS Kiss
X2、F2.8、1/125秒

準特選



「休息」
神久文江さん
(埼玉県児玉郡)



「帰り道」
杉浦芳男さん
(静岡県浜松市)



「語らい」
田中優子さん
(沖縄県那覇市)



ペット部門

グランプリ
「コネコ
ジャンプ」

菓子谷 梨沙さん
(山口県山口市)
撮影地：山口県

キャノンEOS 5D、50mm、F8、1/400秒

初心にかえて意識を明確に

審査員：増田勝正氏
1945年東京都出身。犬、猫、ペット専門の動物カメラマンとして30年以上従事。犬、猫のスタンダード、歴史、使役犬、生態、行動等に造詣が深い。

全体の作品レベルは上がっています。だからこそ、もう一度初心にかえて、撮影のアンングルや何を伝えたいかを意識しましょう。そしてプリントにもこだわってください。インクジェットは多くの作品と並ぶと、どうしても見劣りしてしまいます。最後の工程まで手を抜かないようにしましょう。

特選



「届くかな!」
金森正裕さん(岐阜県大垣市)
撮影地：岐阜県
ニコンD80



「甘えん坊」
青山幸仁さん(兵庫県神戸市)
撮影地：兵庫県
ニコンD700、タムロン200
500mm、F5.6、1/8000秒

準特選



「仲よし姉妹」
和田正浩さん
(青森県青森市)



「夢の中でも
一緒だよ。」
土井雅佳子さん
(大阪府泉佐野市)



「何匹いる
かなあ?」
津守正行さん
(高知県幡豆郡)



子ども&
赤ちゃん
部門

グランプリ
「ぼく座って
いるのは
苦手!!」

中島友子さん
(神奈川県海老名市)
撮影地：神奈川県

キャノンIXY DIGITAL 930IS、F3.5、1/40秒

素直に出た子どもの表情が上位に

審査員：沼田早苗氏
1978年にフリーランスとなる。「財界」「ヨミウリウィークリー」の表紙撮影、商業写真、取材撮影などを手がける。

今回は室内の作品が多く、子どもの表情が素直に出た瞬間をとらえている作品が上位に入ったと思います。そして、プリントに関しては、まだ失敗している人がいて、とても残念でした。きれいなプリントを見ることで正しい色がわかってきます。お店の銀塩プリントをぜひ経験してみてください。

特選



「夢いっぴい」
山本浩士さん(大阪府大阪市)
撮影地：大阪府
iPhone、F2.8、
1/40秒



「家族総出」
綾木恵子さん(静岡県静岡市)
撮影地：福井県
ニコンD7000、18200mm、
F9.1/2000秒

準特選



「パティシエ気分!」
中山 博さん
(東京都武蔵野市)



「達筆?」
堀尾尚美さん
(岐阜県多治見市)



「餅つきのあとで」
岩崎正人さん
(山口県宇部市)



旅部門

グランプリ
「shine」

鈴木 明さん
(静岡県静岡市)
撮影地：トルコ
ソニーα55、
DT55-200mm、F5.6、
1/1000秒

ダイジェストになる瞬間をとらえる

審査員：清水哲朗氏
1975年、神奈川県横浜市生まれ。1998年フリーランスとして独立。作品発表のほか、雑誌の執筆、取材、写真教室の講師、フォトコンテスト審査などでも活動中。

応募数が増えたことで、作品がより多彩になり、見ごたえがありました。上位に選ばれたものは、旅を感じさせつつ、そのときのダイジェストとなるような瞬間をとらえ、見る人に「行ってみたい」「この時間を共有したかったな」と思わせることができる作品です。旅に訪れた場所をどのように表現するかが、旅部門に求められているものだと思います。



「パンダが愛される理由」
提著 藍さん(栃木県佐野市)
撮影地：中国
ベントックスK1r



「はい!ポーズ!」
豊永祐也さん(大阪府池田市)
撮影地：インド
ニコンD3100、18135mm



「秋を、駆け抜けて」
為久公幸さん
(北海道石狩市)



「楽しい休日」
桑原龍央さん
(福島県福島市)

準特選



「くちうつし」
伊崎 昌さん(熊本県熊本市)



自然部門

グランプリ
「プライド」宇野浩之さん(北海道釧路市) 撮影地：北海道

キャノンEOS 50D、EF100-400mm、F7.1、1/640秒

オリジナリティを追求し選択眼を養う

審査員：池本さやか氏
1993年、朝日新聞社写真部勤務、写真をはじめ。2002年以降、東京を拠点に海のなかや人間の活動など幅広く撮影、テーマは「Life on Earth」。

生き物の一瞬をとらえた勢いある作品、静かな詩が聞こえてくるような作品、思い切り笑わせてもらった作品など、見ごたえがあるものが多かったです。上位の接戦になってくると、やはりプリントの美しいものが圧倒的に有利だと思えました。皆さんには、自分の写真のオリジナリティを追及してみてほしいです。撮影後の選択眼を養うことも、いい作品づくりにつながると思います。



「秋のごちそう」
佐川能入さん(北海道札幌市)
撮影地：北海道
オリンパスE5、ED50200mm、
F3.5、1/6400秒



「『タマ』onステージ」
上田克彦さん(兵庫県明石市)
撮影地：兵庫県
ニコンD90、50mm、
F3.2、1/13秒



「秋深し」
高田彰憲さん
(福島県郡山市)



「おどきよ!!」
森洋司さん
(千葉県松戸市)



「ダイヤモンドダスト」
蝶澤英一さん(愛知県豊田市)

SONY
make.believe



カメラはソニー

想いを解き放つ、
かつてない
一眼クオリティを。



デジタル一眼カメラ

NEX-7

■有効約2430万画素「Exmor」APS HD CMOSセンサー ■高解像度XGA有機ELファインダー ■進化した画像処理エンジン「BIONZ（ビオンズ）」
■3つのダイヤルで素早く使いたい機能にアクセスできる「Tri-Dial Navi（トライダイヤルナビ）」

○商品を安全に使うため、使用前必ず「取扱説明書」をよくお読みください。○画像数表記にはCIPAのガイドラインに基づき、有効画素4桁以下を四捨五入しています。○あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。購入の際は、必ず「保証書」の記載事項を確認のうえ、大切に保管してください。○「SONY」、「make.believe」、「α」および「α」ロゴはソニー株式会社の商標です。○「Exmor」、「Exmor」および「Exmor」はソニー株式会社の商標です。○「BIONZ」、「ビオンズ」および「BIONZ」はソニー株式会社の商標です。○買い物相談窓口（フリーダイヤル）0120-777-886 携帯電話、PHS、一部のIP電話からは、0466-31-2546まで。受付時間 月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 ○カタログを申し込みます。はがきに必ず「NEX-7」カタログ希望と記入し、住所・氏名・電話番号を明記のうえ、〒251-0042 藤沢市辻堂新町3-3-1 ソニーカタログ係へ sony.jp/ichigan-e/



ヨーロッパ
2012-2013
受賞!

光で、美しさを描きだす。



F/2.8大口径標準ズームレンズに、「手ブレ補正機構」を世界で初めて※1搭載。待望のフルスペック高画質・大口径標準ズームレンズ、誕生。

SP 24-70mm F/2.8 Di VC USD (Model A007)

35mm判フルサイズデジタル一眼レフカメラ/35mm判フィルム一眼レフカメラ用レンズ

※ソニー用は、ソニー製デジタル一眼レフカメラがボディ内に手ブレ補正機構を搭載しているため、手ブレ補正機構「VC」は搭載していません。

※1 35mm判フルサイズ対応の一眼レフカメラ用大口径標準ズームレンズにおいて、当社調べ、2012年6月現在。

希望小売価格140,000円(税込147,000円)花型フード付 発売中:ニコン用/キヤノン用 順次発売予定:ソニー用

株式会社タムロン 映像営業部
〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-11 翔和神田ビル4F
Tel: 03-3251-3856(代) Fax: 03-3251-3857

タムロンは、様々な産業分野において精密、高品質な光学製品を創出し、社会に貢献しています。

<http://www.tamron.co.jp>



焦点距離:70mm 露出:F/8 1/125秒 ISO100



「秋彩の庭園」

私が写真をはじめたきっかけは、今から60年も前のことになりました。友人からコダック社のボックス型プロローニー版のカメラを買ったことが写真との出会いでした。はじめて撮影をして写真店で現像した写真は今も記憶に残っています。時を経て社会人となり、趣味として本格的に写真をはじめました。モノクロ写真のフィルム現像、引き伸ばし、暗室作業のすべてがとても懐かしく思い出されます。現在は進化の激しいデジタルカメラ全盛の時代であり、あらたな知識や技術を身につける必要がありますが、過去の体験が今でも役立つことも多く、あらためて自分の写真の原点に感謝しています。



「晩秋の景」

かわらず、熟年の生徒さんのカメラ熱は高く、そして女性の受講生が増えたことも喜ばしく感じます。写真は楽しみながらやってくるものであり、そこから生まれる個性の表現でもあります。このことを講座を通して多くの人達と共有することを心がけています。今後、受講者の熱意を高め、写真を楽しんでもらえるように教えていきたいと思っています。

今月のいぶし銀 中道慶一さん



有秋の美を飾る

PCC 会員の腕自慢

PCC会員からたくさん寄せられる、季節の写真の数々。プロとはひと味ちがう技が光る作品をピックアップするのが「今月のいぶし銀」です。今月は、フォトインストラクター・中道慶一さんにスポットを当て、写真を撮りはじめたきっかけや、講師としての心がけをうかがいました。

ほかにもまだある PCC 会員の腕自慢



「ツキノワグマの住む山」 園部直樹さん



「晩秋の須川湖」 伊藤 利喜雄さん

「フォトライフ四季」では、PCC会員の皆さんの作品を募集しています。次号のテーマは「冬」。応募は→P48



「紅葉に祈る」徳光ゆかりさん撮影 フジフィルムX-Pro1、XF60mmF2.4 R Macro、F5.6、1/40秒、ISO200、神奈川県鎌倉市、2011.12.10

思い出シリーズ 1

思い出をつくる
道具たち



いつでも撮れるようにカメラのストラップは手に巻くことが多いそうです。徳光さんがフジフィルムX-Pro1で鎌倉の紅葉を撮った写真は、左のページに掲載。



液晶モニター用フード

液晶モニターでの画像の確認は、どうしても見づらいもの。視力の悪い人にとってはなおさらです。とくに日差しが強い屋外での色や明るさ、ピントの確認は困難を極めます。そこで便利なのが、拡大鏡のついた液晶モニター用フード。これがあれば、その場で確認して次の1枚をどう撮るか決めることができますね。



収納力抜群の
ショルダーバッグ

カメラが3つも収納されているとは思えないサイズ。海外の撮影旅行も小さな鞆で手軽にいくそうです。ポケットのなかからカメラをすぐに取り出せるように、ジャケットを着用して撮影することもあります。



自分流に
アレンジした
カメラケースなど

人気製品を使用していると、ケースなども人と同じになり、撮影会などで区別がつけづらくなります。そこで考えたのが、徳光さん流のちょっとしたアレンジ。カメラケースの紐を、ペルーの友人が編んだカラフルな紐に付け替えることで、自分仕様にしたそうです。また、カメラバッグの中の小物も、好きな柄で統一。江戸時代の判じ絵「かまわぬ」は徳光さんのお気に入りです。

Voic 6 徳光ゆかりさん
撮影モードは
“どこも優先”
が基本

“どこも優先”の写真を大切に
する写真家・徳光ゆかりさん。
機材をできるだけコンパクトに
して、風のような気分で気軽に
撮影を楽しむための心構えを
うかがいました。

“どこも”で撮る、徳光ゆかりさんの
必携アイテム

撮影機材&持ち物リスト

- 【カメラボディ】
フジフィルム X-Pro1、フジフィルム X10、フジフィルム KLASSE W
- 【交換レンズ】
XF18mmF2 R、XF35mmF1.4 R、XF60mmF2.4 R Macro
- 【その他】
ミニ三脚、予備電池、扇子とハンドタオル（写真教室などで話すときは温度調整のため年中必須）



プロの金言

撮影したら選んで
プリントする



「カメラがデジタルになって1番大きく変わったのは、枚数を気にせずに撮影できるようになったこと。しかし、撮ったままにしておいては写真が上手くなりません。画像はプリントしてはじめて写真になるので、選定をしてプリントすることをすすめています。1枚1枚の写真を大切に撮り、プリントすることが写真上達の近道になります。無尽蔵にシャッターを切らず、“どこも”で感じた写真を撮りましょう」

徳光さん愛用のカメラ PCC 会員1名様にプレゼント
フジフィルム X-Pro 1&レンズ (XF35mmF1.4 R)

最高峰の画質と質感で、「ミラーレス一眼」の概念をかえたカメラ。街なかの撮影はもちろん、風景写真も思う存分楽しめます。
官製はがきに①氏名②住所③電話番号④PCC会員番号⑤今回の『フォトライフ四季』でおもしろかったページ⑥『フォトライフ四季』、PCCでやってほしいこと⑦主に使用しているカメラ（デジタル一眼レフ、ミラーレスなど）を記入の上ご応募ください。PCCへの入会は→P42



締め切り間近!

Xシリーズ キャッシュバックキャンペーン実施中。X-Pro1なら1万円、X10なら5千円をキャッシュバック! (9月28日購入分まで) 詳細はhttp://fujifilm.jp/x_cashback/

プレゼント応募締切
2012年9月30日(日)※当日消印有効

徳光ゆかり（とくみつ・ゆかり）
大分県別府市生まれ。日本写真映像専門学校芸術学部卒業。西部毎日広告社制作局カメラマンを経て、フランスに。写真教室の講師をする傍ら、東京、ペルー、ベルギー、チュニジアなどの撮影をライフワークとしている。現在PCCでPCCフォトインストラクター養成ディレクターとしても活躍。撮影会「東京ぶらり撮り・808」を毎月実施中。

「カメラはすばやく自然体で構えたい」
徳光さんが愛用しているカメラは、フジフィルム X-Pro1。高い解像力や操作性など注目すべき点が多いカメラです。徳光さんが気に入っているのは、レンズを交換すると、カメラがレンズの焦点距離を自動的に判断し、ファインダー倍率を切りかえてくれる「ハイブリッドマルチビューファインダー」機能。「ミラーレスであるにもかかわらず、一眼レフと同じように、ピントやボケの状態をファインダーで確認しながら撮影できるのがいいですね。また、レンジファインダー風の外觀と、小さなバッグにも収まる大きさも使いやすい。街で写真を撮るときは、周囲の邪魔にならないようにサッとカメラを構えたいですからね」
徳光さんはそう言うのと、X-Pro1を手に、街へ撮影に向かいました。その姿はさわやかな秋の風のようにした。

“どこも優先”の針が
ふれたときに撮る
徳光さんの撮影のモットーは、
“どこも優先”。何をどう撮りた
いかという自分の気持ちが基本
になります。
「撮影はカメラを構えたときの
気持ち、つまり、何をどう表現
したいかによってアングル、絞
りなどが決まります。それはフ
ィルムでも、デジタルでも同じ
どこで何を撮ればいいのかと悩
むのではなく、この針がふ
れたときに自由に撮ればいい
です」
徳光さんの写真教室で生徒に
教えているのは、自分が感じた
ものを写真で表現するための心
構え。テンポよく語られる写真
哲学は、写真を撮る喜びを再度
気づかせてくれます。
カメラはすばやく
自然体で構えたい

思い出を
残す
新方法

バラバラになった思い出の写真をまとめて共有する 写真をスッキリ保管する たった3つの整理術



「なかよし小学生」 浅岡由次さん



「おやすみ」 伊藤要介さん



「元気一杯!!」 佐々木 健一さん



思い出の写真は、写っているみんなで共有したいですね

「私が主役？」 今 明美さん

スマートフォンのアプリでも
マイフォトボックスが登場

マイフォトボックスはパソコンとスマートフォン (iPhone、Android) の両方でデータを管理できます。無料アプリをダウンロードすれば、スマートフォンから撮影した写真をアップロードでき、マイフォトボックスの写真をいつでも気軽に楽しむことができます。アプリからマイフォトボックスに保存した写真で、写真プリントやフォトブックも注文することができます。

iPhone
App Storeから「キタムラ」で検索してください

Android
Playストアから「キタムラ」で検索してください

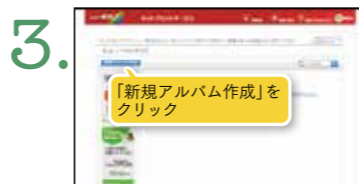
マイフォトボックスの使い方 ※マイフォトボックスのサービス内容は、2012年8月1日現在のものです



1. http://www.kitamura-print.com/my_photo_box のカメラのキタムラホームページ内で「ログインはこちら」をクリック。マイフォトボックスの項目の「つかう」をクリックします。



2. 会員登録をした後に、会員IDとパスワードを入力し「ログイン」をクリックします。



3. 「新規アルバム作成」をクリックします。



4. アルバムのタイトルとコメントを入力し、「次へ」をクリック。



5. アップロード画面で写真を選択し、選び終わったら「保存」をクリックします。



6. アルバムがアップロードされました。

詳しくは <http://www.kitamura.jp>

カメラのキタムラ マイフォトボックス 検索

多種多様になった機器で
写真が忘れ去られる？

皆さんは、どんなカメラで写真を撮っていますか？最近ではコンパクトデジタルカメラ、デジタル一眼、ミラーレス一眼、スマートフォン、携帯電話など、さまざまな機器で撮影ができるようになりました。カメラが一家に1台だけではなく、カメラが1台、写真がバラバラに保存されてしまっていて、大切な記録や思い出がどこかに忘れ去られてしまう恐れもあるのが現状です。そんなことにならないように、これから紹介する3つの方法で、これからの写真を整理してみませんか？

写真を整理するための
たった3つの方法

1 写真を1ヶ所に集める
まずは使っているパソコンに、いろいろな機器で撮影された写真を集めてみましょう。

2 日付とイベントでまとめる
フォルダ名に「日付+イベント名」をつけて写真を保存すると、写真を探すのが簡単になります。

3 安全に写真を保管する
せっかく集めた写真も、パソコンが壊れてしまえば、一瞬にして消えてしまいます。そんな事態に備えて、オンラインでの画像保管サービスを利用することをおすすめします。

カメラのキタムラの「マイフォトボックス」は、パソコン、スマートフォンからオンライン上に画像を保管・閲覧でき、共有もできます。ご自宅のパソコンとマイフォトボックスの二重保管ができるのも安心です。

また、マイフォトボックスに保存してある画像は、簡単にプリントやフォトブックの注文ができます。特にスマートフォン「マイフォトボックスアプリ」を使うと、自動的に最適なレイアウトでフォトブックをつくる事ができるんです！

安心、安全、便利なマイフォトボックスは、1・5GBまで無料で使うことができます。

PCCに届いたメール
デジタルカメラやスマートフォン、パソコンに入っている写真を、まとめて保存し、家族や友人と見たり保存し合ったりできる方法はありませんか？

今や、「一家に1台」ではなく、「一人に1台」になったカメラ機器。手軽で便利になった反面、写真のデータがバラバラに保存されてしまうことも。そんなお困り事を解決する、たった3つの簡単な写真整理術があるんです。

思い出の
残り方
2通り

スマホで秋の写真を思い出に残す

スマートフォンで撮った 何気ない日常を思い出に

芸術の秋。カメラを持ち歩いて撮影を楽しんでいる人も多
いのでは？ 最近では、日常の光景をスマートフォンで撮
る人も多く見かけますよね。実は、そのようにして撮った
日常の写真は素敵な思い出として残るんです。



写真のプリントは店頭の受付機からもアプリからも注文できます

スマートフォンで撮った写真で年賀状もつくれます

日常の写真は
素敵な思い出になる

スマートフォンって便利です
よね。いつでも、どこでも気楽
に写真が撮れて、さらにいろい
ろなアプリで加工もできちゃう
ので、つい楽しく、たくさ
ん撮ってしまうことも多いので
はないでしょうか。

後でふり返ったときに、素敵
な思い出になっていることが多
いのは、日常を写した写真なん
です。写したそのときに見ても
あまりいいと思わない写真でも
時が経てば感じ方がかわってき
ます。身近な風景も子どもの成
長も、気がつけばどんどん変化
していくものです。そんな移り
ゆく時代をとらえるには、いつ
も持っているスマートフォンが
大活躍します。

何気ない日常の写真をメモの
ように撮ることが出来るスマー
トフォン。皆さんはその写真を
どうしていますか？

スマートフォンの写真を
プリントや年賀状に

スマートフォンで撮った写真
を簡単にプリントにできるのは
ご存知でしたか？ 最近のスマ
ートフォンの画素数であれば、
Lサイズはもちろん、大きく伸
ばしてプリントすることができ
ます。もし、お気に入りの写真
が撮れたら、大きくプリントし
て部屋に飾るのもいいかもしれ
ませんね。

スマートフォンで撮った写真
をプリントするには、お店の写
真受付端末から注文する方法、
アプリを使って簡単に注文する
方法の2通りがあります。もち
ろん、スマートフォンで撮った
写真は、デジカメの写真とかわ
らないので、写真プリントにす
る以外にもフォトブックをつく
ったり、写真年賀状に使ったり
することもできます。スマー
トフォンを活用して写真ライブを
充実に過ごしましょう。



アプリでフォトブックを
つくることも



レイアウトの調整も簡単



プリントはLサイズから大伸ばしもできます

スマートフォンの写真をプリントや年賀状に

1. 店頭の受付機で簡単に注文できます
2. スマートフォンのアプリでも注文できます
3. プリントは大伸ばしもできます

知っている人がやっている

七五三は早めに撮る

ゆとりを持つ先手必勝の知恵

ゆとりのある撮影で
一生残せる記念写真を

七五三のシーズンが近づいてき
ましたね。一般的に七五三のお参
りは、11月15日前後の土日や祝
日がピークになるようです。シー
ズンになると、どこのスタジオも
混雑してしまうので、早めに
七五三撮影の予約をし、時間に
余裕を持つことをおすすめしま
す。PCC特別賛助企業のスタ

ジオマリオでは、撮影のときに
何着でも着替えができるので、
ゆとりがあれば、その分素敵な
記念写真を残すことができます。

お参りはもちろん大切。でも
一生残る記念写真もすばらしいも
のにするために、早い時期に気
持ちの余裕をもって撮影をする
ようにしましょう。9月30日まで
の平日なら、通常3150円の
撮影料が無料。さらに、同じく
9月30日までに七五三撮影をす

るとお参り用の着物もお得にレ
ンタルできます。

わくわくした気分です楽しい記
念日をすごせるスタジオマリオ
を、ぜひご利用ください。

七五三の写真で 年賀状をつくる

スタジオマリオには、お買い
上げの写真画像をインデックス
付きのCDにまとめられる「マ
リオフォトCD」(1枚5250
円)があります。

七五三のお祝いが終わったら、
そろそろ年賀状の準備がはじま
ります。「マリオフォトCD」
をお近くのカメラのキタムラに
持っていけば、お気に入りの一
枚を選んで、写真入り年賀状を
つくることもできます。すくす
くと成長したわが子の写真を添
えて、年始のあいさつをすれば、
ご家族やご親戚はもちろん、親
しいご友人や恩師にも喜ばれる
こと間違いありません。



着つけ、ヘアメイクはスタジオマリオにおまかせでらくらく



洋装の衣装も用意しています



スタジオマリオの大人気商品
「マイピクチャーコレクション」もご用意
七五三写真を本格的写真集にしちゃいましょう



年3回発行のスタジオマリオの
フリーマガジン。全国の店舗で
もらえます

スタジオマリオの七五三ここがお得

1. 9月30日までの平日なら、七五三撮影料3,150円(税込)が無料
2. 千歳飴を、もれなくプレゼント
3. お買い上げ金額に応じて、選べるプレゼント

※店舗により衣装は異なります。詳しくはお近くの店舗までお問い合わせください。



お客さま なんでも相談室 TEL.050-3116-8888 受付時間10:00~20:00 年中無休 専門のスタッフが電話で全力サポート!

<http://www.studio-mario.jp>

スタジオマリオ 検索

<http://www.kitamura.jp>

カメラのキタムラ 検索



貯まる!
使える!



通常の単焦点レンズとして使えるのもマクロレンズのメリット ニコンD300S、105mmマクロ、F16、1/6秒、-0.7EV、ISO200、千葉県(本土寺)、2010.11.29、三脚使用

思い出シリーズ 4

思い出を
残す
テクニク



服部考規(はつとり・たかのり)
1973年、神奈川県茅ヶ崎市生まれ。日本写真芸術専門学校卒業後、風景写真家・竹内敏信氏の助手、写真関連会社勤務を経てフリーとなる。現在、PCCのフォトインストラクター講師などで活躍中。
服部さんの紅葉撮影教室はP40をチェック。

『マクロレンズ』の“ソコシリ”

そこが知りたい! 初心者向け講座 第1回 秋マクロに初挑戦

ナビゲーター・服部考規さん

マクロレンズには標準・中望遠・望遠の3種

小さなものを大きく写したい場合、通常のレンズでは近づける限界があります。それ以上近づいて撮影するとピントが合わなくなってしまう。この限界の距離を「最短撮影距離」と呼び、標準的なズームレンズだと約50センチ、望遠レンズではさらに長くなるため、アップを撮ることが難しくなります。では小さなものを大きく撮るにはどうしたらいいのでしょうか。

ここで役立つのが「マクロレンズ」です。接写が得意なレンズで、最短撮影距離が短いため、実物と同じ大きさ(等倍)や、半分の大きさ(1/2倍)にまで拡大してセンサーに写すことができます。

通常、マクロレンズは、標準(50ミリ前後)・中望遠(100ミリ前後)・望遠(200ミリ前後)の3種類があります。



「溶けるようなボケ」が魅力のマクロレンズ。無理に最短撮影距離まで近づかず、美しいボケを活かせる適度な距離からフレーミングしました
ニコンD300S、105mmマクロ、F2.8、1/25秒、+0.3EV、ISO200、三脚使用

マクロレンズは単焦点レンズのため、被写体の大きさを変化させるにはカメラを前後に動かしてフレーミングしなければなりません。そのため、被写体を限界まで大きく写したい場合は最短撮影距離までカメラを近づける必要があります。

マクロレンズは単焦点レンズのため、被写体の大きさを変化させるにはカメラを前後に動かしてフレーミングしなければなりません。そのため、被写体を限界まで大きく写したい場合は最短撮影距離までカメラを近づける必要があります。

マクロレンズは単焦点レンズのため、被写体の大きさを変化させるにはカメラを前後に動かしてフレーミングしなければなりません。そのため、被写体を限界まで大きく写したい場合は最短撮影距離までカメラを近づける必要があります。

マクロレンズは単焦点レンズのため、被写体の大きさを変化させるにはカメラを前後に動かしてフレーミングしなければなりません。そのため、被写体を限界まで大きく写したい場合は最短撮影距離までカメラを近づける必要があります。



センターにない被写体にしっかりとピントが合うよう、MFで厳密に合わせました
ニコンD300S、105mmマクロ、F2.8、1/400秒、-0.3EV、ISO400

マクロレンズは、接写が得意なレンズ」というだけではありません。遠くにある被写体にもしっかりとピントを合わせることができ、開放絞り値が明るく、描写やボケ具合が美しいのもマクロレンズの持ち味です。通常の風景や人物ポートレート、スナップなどにも積極的に活用したいレンズといえます。

マクロレンズは、接写が得意なレンズ」というだけではありません。遠くにある被写体にもしっかりとピントを合わせることができ、開放絞り値が明るく、描写やボケ具合が美しいのもマクロレンズの持ち味です。通常の風景や人物ポートレート、スナップなどにも積極的に活用したいレンズといえます。

マクロレンズは、接写が得意なレンズ」というだけではありません。遠くにある被写体にもしっかりとピントを合わせることができ、開放絞り値が明るく、描写やボケ具合が美しいのもマクロレンズの持ち味です。通常の風景や人物ポートレート、スナップなどにも積極的に活用したいレンズといえます。

マクロレンズは、接写が得意なレンズ」というだけではありません。遠くにある被写体にもしっかりとピントを合わせることができ、開放絞り値が明るく、描写やボケ具合が美しいのもマクロレンズの持ち味です。通常の風景や人物ポートレート、スナップなどにも積極的に活用したいレンズといえます。



マクロレンズの特徴を活かし、柔らかい丸ボケを美しく出した例です。ピントの合った柵と紅葉の距離が離れるほどボケは大きく美しくなります
ニコンD300S、105mmマクロ、F2.8、1/30秒、-1.3EV、ISO200、三脚使用



明暗差がある背景とのバランスを考え、どちらにもピントが合うよう少々絞り込んで撮影。マクロレンズでもこんなスナップ的な撮り方ができます
ニコンD300S、105mmマクロ、F8、1/10秒、-2.0EV、ISO200、三脚使用

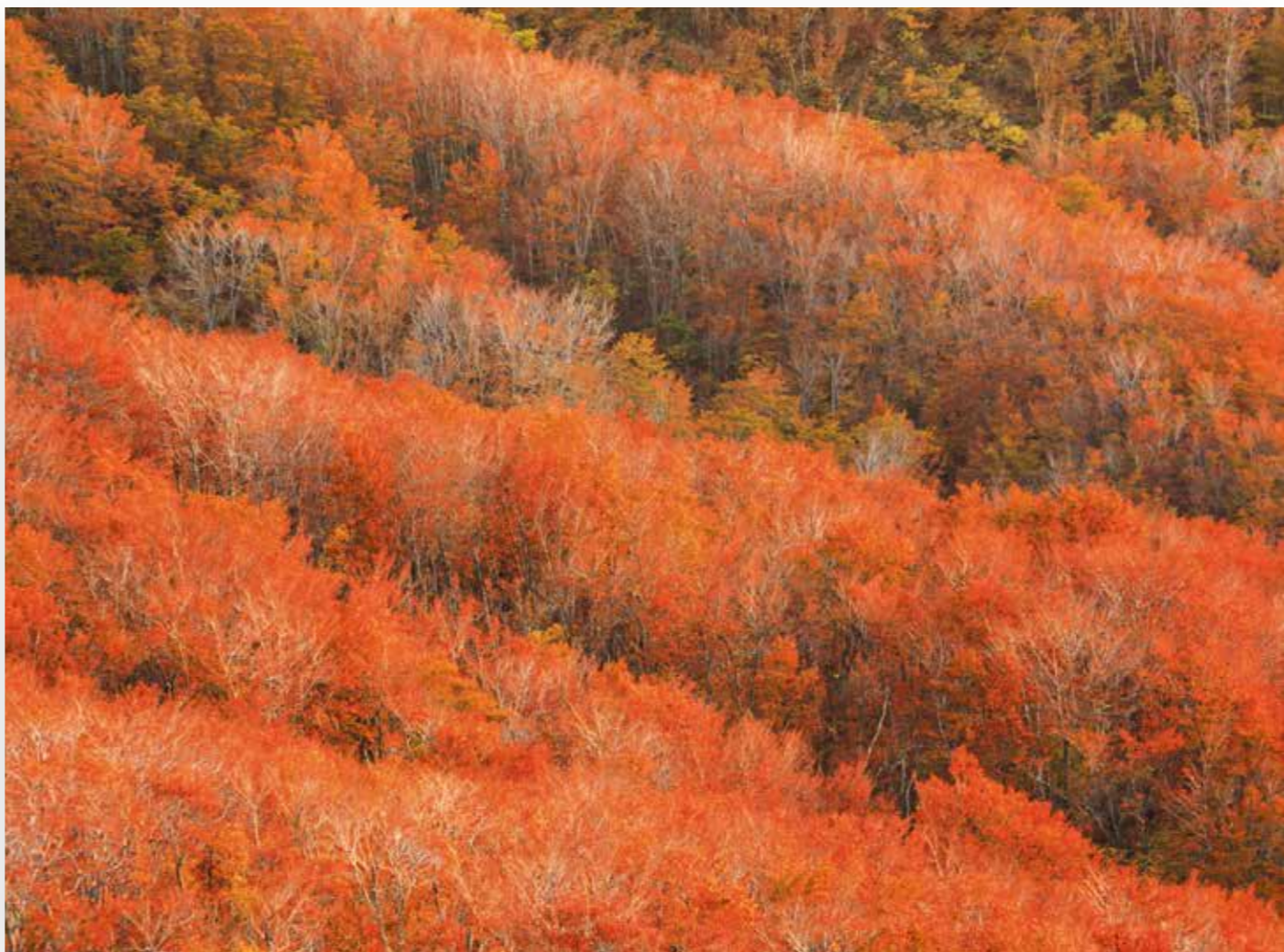
思い出をつくる
テクニック

うまくなるゴールは

「○○さんぽい」と言われる写真を撮ること

仲間にも自分の写真を見せたとき、「一番うれいのは、○○さんらしい写真ですね」といふこと。そんな個性的な写真を撮るために、クラブツーリズムでは、基礎から学べる写真教室、撮影ツアー、フォトコンテストなどのイベントを用意しています。
3つはつねに隣り合っているが、つながり合っていて、繰り返すほどステップアップ。PCCでは「写真上達スパイラル方式」と名づけました。

写真上達スパイラル方式



写真家・秋野 深さん撮影（下記の作品講習会つき日帰りバスツアーに同行）



作品講習会つきバスツアーで応用力を身につける

クラブツーリズムでは、日帰り撮影と、作品講習会がセットになったバスツアーを実施しています。講師をつとめるのは、丁寧な指導で定評がある人気の写真家ばかり。なかでもおすすめは、秋野 深先生が講師をつとめる「作品講習会つき日帰りバスツアー」。撮影の旅でも、丁寧な教え方で初心者の方々から支持される秋野先生。実習先でもわかりやすくレクチャーしてくれます。自分らしい写真を撮るためには、どんなことを大切にすればいいか、アドバイスを受けましょう。
事前講義↓バス実習↓作品講習会
また、そのほかのツアーも目白押し。秋野先生と遠方へ出かける宿泊ツアーももちろんあります。クラブツーリズムではこのように、憧れの写真家と一緒に人気スポットを巡り、旅を通して趣味を深めるバスツアーを多数ご用意して、皆さんをお待ちしています。



写真家・秋野 深さん撮影（右記の作品講習会つき日帰りバスツアーに同行）



初心者向け撮影セミナーで切磋琢磨

クラブツーリズムは、初心者向け講座をPCCと共同で開催しています。
名古屋の「写真撮影の旅／講座」では、はじめてデジタルカメラに触れる初心者を対象として、
1 デジタルカメラの基礎知識
2 デジタルカメラの使い方
3 撮影実習
4 作品講評
といった全4回の流れでカリキュラムを展開します。10〜20名の少人数でクラスを編成するので、個別の質問にも対応でき、被写体に応じた撮り方のコツや、カメラの機能などについても講師が丁寧に教えてくれます。
また、講座と実習はすべて土日に実施されるので、平日は仕事で忙しいという方でも参加が可能。講座を通じて、切磋琢磨しながら写真を学ぶ、新しい仲間との出会いも生まれるかもしれません。



デジタルカメラの基礎から実践まで、このセミナーで学べます ※写真はイメージです

デジタルカメラのはじめの一歩にふさわしい、初心者向けの撮影セミナー。皆さん、奮ってご参加ください。



「365日フォトコンテスト秋冬」で意欲を引き出す

PCCが主催する「365日フォトコンテスト秋冬」では、初心者向けの「腕だめしコース」と、中〜上級者向けの「腕自慢コース」で、さまざまなテーマの作品を募集しています（↓P39）。クラブツーリズムが企画する写真ツアーやセミナーに参加し、満足のいく作品が撮れたら、ぜひ応募してみよう。
フォトコンテストに応募し、自分の写真を多くの人に見てもらう機会をつくることは、とても大きな意味があります。他人の評価が自信となり、新しい作品を撮る意欲を引き出してくれます。



2011[秋冬]腕自慢 風景部門 特選「天空の神田」河野彰子さん

惜しくも入選ならなくても、学びとなるのがフォトコンテストの醍醐味。「どうしたらもっといい作品が撮れるのだろうか？」と考えることは、写真上達の手がかりとなります。撮影しながら写真を学び、挑戦をつづける。これが写真上達スパイラル方式なのです。

資料を無料進呈しております。お電話でオペレーターに下記資料請求番号をお伝えください。

<p>関東撮影ツアー</p> <p>資料請求番号 101720</p>	<p>名古屋撮影ツアー・講座</p> <p>資料請求番号 1F0379</p>	<p>関西撮影ツアー・講座</p> <p>資料請求番号 1G0300</p>
-------------------------------------	---	--

その他全国各地さまざまな撮影ツアー・講座を開催しています。クラブツーリズム最新情報は下記電話番号、またはホームページへ。
Tel. 03-5323-6990(関東)
Tel. 052-300-0011(名古屋)
Tel. 06-6733-0090(関西)
【営業時間】月〜土 9:15〜17:30 日・祝は休業

クラブツーリズム 写真 検索

思い出
発見講座

街中すべてが写真の主役
被写体大辞典 第6回

秋 編

街中の紅葉、落ち葉のじゅうたん。秋の撮影が「紅葉の名所」だけではもったいないですよ。さらに、被写体は紅葉だけでなく、身近にあふれています。さて、今年の秋は何を撮りましょうか。

小天狗【こてんぐ】

季節を感じるものと一緒に写せば、子どもの成長をより印象深くする一枚に。米長さんの作品は、「小天狗」というタイトルが、両手で葉を持ったお子さんの表情がぴったりです。



米長時正さん

工事中【こうじちゅう】

「ここに新しい建物が建つのか」と思っていたら、いつの間にか完成しているもの。毎日の積み重ねの「瞬間」をとらえるのも写真のおもしろさです。街の景色も入れて「その時代」を残しましょう。



藤乃 葉さん



床島央明さん

公園【こうえん】

タイトルは「秋を探した」。写真から読み取れるもの以上に意味を持たせるのがタイトル。何を感じてシャッターを切ったのか忘れないうちに、思い浮かんだタイトルをメモしておきましょう。



米長時正さん

秋の水面【あきのすいめん】

季節ごとにかわる水面の色を撮影しましょう。水面がきらきら輝く感動は、露出補正を調整することで写真にとじこめることができます。



ドーナツ【どーナつ】

丸い穴に花や人、街を入れて、いつもと違った雰囲気。長方形や正方形ではない「丸い枠」で構図を考えるのも楽しいものです。



ハロウィン【はろういん】

【はろういん】

最近ではハロウィンの時期に幼稚園で仮装をしたり、街でパレードが開催されたりと、身近なイベントになってきました。パレード参加者は撮られることを承知の上で参加している場合が多いので、一声かければポーズを決めてくれることも。



野田信也さん

アンティーク・スコッチ

【あんでいーく・すこつち】

津吹さんの好きな雰囲気たっぷりに撮影されているのがよく伝わってきます。最近のカメラに搭載されているフィルター機能を使い、アーティスティックな写真を撮るのも、写真の楽しみ方のひとつです。



津吹 猛さん

紅葉の窓

【こうようのまど】

黄色と赤の窓から見えるのは日本アルプス。紅葉を脇役にするので、景色が一層ドラマティックになります。



牧寄芳彦さん

思い出を送る方法

新年はこれで人と差をつける

一歩先ゆく写真年賀状のアイデア

年賀状普及協議会は、11月1日を「年賀状を考える日」と制定しました。



写真年賀状コンテスト2012 グランプリ 岡野宏樹さん

11月1日は「年賀状を考える日」

年賀状は、新年という節目に、旧年中の厚情に感謝し、「今年もよろしく」という意味を込め、あいさつ状を送り合う日本の大切な伝統文化です。そんな心温まる習慣を未来へ継承し、普及促進することを目的とする年賀状普及協議会は、11月1日を「年賀状を考える日」と定めました（日本記念日協会認定）。

最近では、デジタルカメラの普及により、写真年賀状を出す人が増加傾向にあります。11月は、年賀はがきが発売される月でもあるので、年賀状のアイデアを考えるには最適です。「今年はまだ時間があるから」と油断し、間際になって慌てることのないように、ここで紹介する写真年賀状づくりのアイデアを活用して、お正月に備えましょう。

アイデア1 おっ！と驚かせて 気持ちを引きつける

年賀状を送る相手に幸せな驚きを感じてもらうために、写真のインパクトで相手の気持ちを引きつけましょう。受け取った人が「すごい」「おもしろい」「まさか!」「いい写真だね」と思えるようなものがいいですね。フォトコンテストで、審査員の目を引く写真を応募するように、送る相手のことを考えながらつくるといいですよ。

相手に驚きを感じてもらおうのと同時に、幸せな気持ちを抱いてもらえるように工夫してみましよう。かわいい子どもの笑顔や、家族のひょうきんな顔など、表情がわかるようにつくと、幸せ感が伝わります。「どのよう撮ったんだろう」と撮ったときの状況を想像させるのも、「おっ!」と思わせるポイントです。



写真年賀状コンテスト2012「WOW感」賞 松下将士さん

- ① 写真のインパクトで引きつける
- ② 家族や子どもの表情を写す
- ③ 撮ったときの状況を想像させる

アイデア2 言葉と融合させてメッセージを伝える

皆さんも年賀状には、必ずと言っていいほど「あけましておめでとう」や「謹賀新年」などの言葉を添えますよね。その言葉をちょっと変化させてみたり、プラスして言葉をつけ加えたりすることで、より印象的な年賀状をつくることができます。

ていまいと相手にメッセージが届かないので、映画や広告のポスターなどを参考に、写真と言葉を効果的に結びつける工夫をしてみてください。

また、最近では写真にコミックのような吹き出しをつけてユニークなセリフをつけるアイデアも見られます。これも立派な「写真と言葉の融合」ですよ。このような方法も、写真を引き立ててくれて、送り手の人柄を伝えてくれます。

- ① 言葉をちよつと変化させる
- ② 写真と言葉のイメージを合わせる
- ③ コミックのような吹き出しも有効

写真と言葉が調和していますね。四字熟語も通常の「謹賀新年」ではなく、春を感じさせる新年の言葉を選び、手綱を引く子ども達の手の写真に合うように、「力を合わせて」と言葉を添えているところがニクイ演出ですね。



写真年賀状コンテスト2012「言祝ぎ感」賞 伊藤茂年さん

アイデア3 「今」を伝える写真で特別な年賀状にする

年賀状を、その年の特別なものにするために、写真に「今」を入れてみましょう。新しくできた観光名所や、その年に開かれたビックイイベントなどを撮れば、まさにその年ならではの年賀状になります。また、子どもの成長や、家族の記録も「今」を伝えることができます。何年後かに「あのときはこうだった」と振り返ることができるのも、年賀状の醍醐味です。

アイデア4 フォトフレームを使って年賀状を彩る

ここまでのような、いろいろな年賀状のアイデアを見ていると、お店や年賀状作成ソフトにあるような、写真はめ込み型のフォトフレームは「なにか工夫がないから」と感じてしまつて、敬遠していませんか？それはまったくの誤解です。とっておきの写真とフォトフレームを上手に組み合わせれば、より簡単に、人の目を引きつける年賀状をつくることができます。



写真年賀状コンテスト2012「こだわりの写真」賞 飯田恵子さん
フォトフレームを使い、写真を工夫することでおもしろい年賀状ができています。セピア調の写真とカラフルなフレームを使って、見栄えを整えているところにもアイデアを感じます。



写真年賀状コンテスト2012「現在感」賞 齋藤 慶一郎さん
2012年の「今」を伝えつつも、家族みんなで「Get Over」=「乗り越える」という気持ちを写真でもあらわしています。もらった人も希望を感じ応援したくなる一枚です。

- ① その年のイベントを写真に入れる
- ② 子どもや家族の「今」を入れる

年賀状は「送るギャラリー」。年賀状づくりをMyイベントに 写真年賀状コンテスト2013 2013年1月1日(火)~25日(金)

主催：年賀状普及協議会

後援：NPO法人 フォトカルチャー倶楽部

特別協力：カメラのキタムラ&スタジオマリオ

協賛：岡村製作所、カルチュア・コンビニエンス・クラブ、キャンノンマーケティングジャパン、クラブツーリズム、コクヨファニチャー、スターツコーポレーション、日本郵便、ハクバ写真産業、富士フィルム イメージングシステムズ、フレームマン(五十音順)

写真を使った年賀状をPCCに送るだけ！ 詳しい応募要項は12月10日発行の次号「フォトライフ四季」でお知らせします。

最新情報は nenga-jp.jp で [検索](#)

年賀状普及協議会

Thanks for Coming

自分の想いを作品にのせて、見に来るあなたに届けたい

一年間の精進を見てもらえたら



第4回NK-5写真同好会写真展
2012年3月15日(木)～3月21日(水)
私たちはNK-5ニコンカレッジを受講した仲間で作った写真同好会です。芳賀健二先生のもと、楽しく写真の上達を目指しています。今回は、この一年間の精進の結果を見てもらえたらと思い企画しました。

雲のある風景をテーマに



第11回ニッコールクラブ東銀座写遊支部写真展
2012年3月22日(木)～3月28日(水)
ニッコールクラブ東銀座写遊支部は、ニコン塾の受講生有志が集まったグループです。写真を楽しみながら、年1度のペースで写真展を開いてきました。今年は「雲のある風景」をテーマに54点の作品を展示しました。

感性を磨く作品づくりに励む



第23回UPCフォトクラブ写真展
2012年3月29日(木)～4月4日(水)
UPCフォトクラブは、結成23年目の写真愛好家グループです。これまで、月に1回の例会と、年に2～3回の撮影会というペースで活動してきました。私たちは、会員の個性を大切に、感性を磨く作品づくりに励んでいます。

震災に負けず、よい撮影ができた



第17回キヤノンフォトクラブ東京フラワー写真展「景色の中で」
2012年4月5日(木)～4月11日(水)
私たちのクラブは、高橋 扶田男先生の指導のもと18年目に入りました。昨年の活動では、東北大地震もありましたが、撮影会は予定通り実施できました。特に、夢科湖、雨の日の日光植物園ではよい撮影ができました。

息子の還暦、私の米寿の記念に



正村直子 親子展
2012年4月12日(木)～4月18日(水)
私が還暦を迎えたときに、鉄道写真を撮っていた息子のすずめで写真を再開しました。いまでは息子も還暦を過ぎ、私も米寿を迎え、その記念として、撮りためた旅の風景と蒸気機関車の情景を発表しました。

出かける度にまた行きたくなる



大林ひろ子写真展「希望の国ベトナムへ」
2012年4月19日(木)～4月25日(水)
ベトナムは出かける度にまた行きたくなる場所です。笑顔の子ども達や、働き者の女性達など、人間味や家族愛にあふれています。趣味としてはじめた写真も十年が過ぎ、ひとつの区切りとして写真展を開きました。

撮影者が「今年はこちら」と思う作品を



第6回CAMARADE写真展
2012年5月10日(木)～5月16日(水)
写真を終生の趣味として、同じ教室で学んだ仲間です。それぞれ、人物スナップ、街や自然の風景など、興味の赴くままに楽しく撮影しています。今回は、撮影者自身が「今年はこちら」と思う作品を展示しました。

忘れられない出会いや季節の音を感じて



原植春夫先生と仲間達
2012年5月17日(木)～5月23日(水)
原植春夫先生のもと、写真表現について学んでいます。感性を活かした写真づくりは楽しく、ときには悩む時間でもありました。今回の写真展では、忘れられないひとときの出会いや季節の音を表現した作品を展示しました。

今年1年の成果が集結



第3回EP会写真展Beautiful
2012年5月24日(木)～5月30日(水)
EP会(Enjoy Photo会)は、EOS学園の川合教室卒業生が主体となって2006年に結成した会です。今回の写真展のお題は「Beautiful」。メンバーの想い想いの「Beautiful」を展示しました。



みんなで写真展を開けばお互いに腕を磨き合えます

思い出シリーズ 8

思い出を
見せる
テクニク

しまい込むより見せるが価値 手間のかからない写真展の開き方

初めての写真展 こんな具合に

スタート

- ギャラリーで申し込み
- 展示する写真選び
- DM(ダイレクト・メール)作成
 - ・自分でつくっても、ギャラリーで頼んでもOK

開催1ヶ月前

- 写真のデータ渡し
 - ・CD-RかUSBで
- DM発送

開催2週間前

- ギャラリーでプリントの仕上がり、色味チェック

開催前日

- 展示準備

オープン!

準備は簡単 思い立ったが展示どき

いざ写真展を開こうと思っても、どうやったらいいのか迷ってしまいますよね。

フォトギャラリーキタムラ(東京・新宿)では、手間をかけずに写真展を開くことができます。手間のかかりがちな展示や片付け、発送手配などはすべてギャラリーのスタッフがこなしてくれます。プリントはキタムラで手配し、額

も用意してあります。写真の設置、ライティングは展示専門のフレームマンがプロデュースしてくれます。

気になるお値段は、展示場代で6日間12万円。P29の皆さんのようにグループで開けば、10人の場合1日2000円程度で写真展が開けてしまいます。すぐに予約でいっぱいになるのでお早めに。

左のチェックリストを活用して、気軽に写真展を開いてみませんか？

募集

写真愛好家たちのギャラリーライフを聞きたい！
あなたのギャラリー体験談を教えてください

写真展を開くことは、仲間との出会いにつながったり、撮影の視野を広げてくれたり、得るものが多い活動です。でも、きっかけがなくて、いまだ写真展を開いたことがないという人が多いことも事実。そんな人のために、写真展を開いたあなたのギャラリー体験談をさかせてください。

例えば、写真展で嬉しかったこと、楽しかったこと、学んだこと、仲間との絆、などをはがき書いてご応募ください。

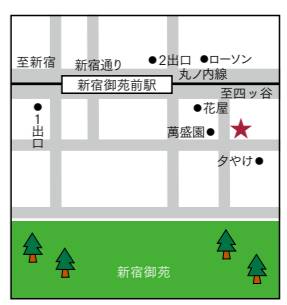
官製はがきに
①氏名(グループの場合はグループ名と代表者名)②住所③電話番号
④あなたのギャラリー体験談をご記入の上、ご応募ください。
『フォトライフ四季』編集部が選ばせていただき、12月10日発行の次号『フォトライフ四季』に掲載します。
[応募先]NPO法人フォトカルチャー倶楽部
「ギャラリー体験談を教えてください」係
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
応募期限：2012年10月10日(水) ※当日消印有効

フォトギャラリーキタムラ 大阪・豊中
大阪府豊中市西緑丘3-10-7
カメラのキタムラ豊中・豊中店2F
☎06-6855-6645
10:00-20:00
※写真展最終日は15:00まで
定休日/年中無休(年末年始は除く)



フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿
東京都新宿区新宿1-2-6 御苑花忠ビル1F
☎03-3341-7577 <http://kitamura.jp/photogallery/>
10:00-18:00(土曜日11:00-17:00)
※写真展最終日は15:00まで 定休日/日・祝祭日

フォトブックサービス中
フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿では、ギャラリーをご利用のグループに、展示した写真や記念写真をまとめたフォトブックを1冊プレゼントしています。



思い出づくり研究所

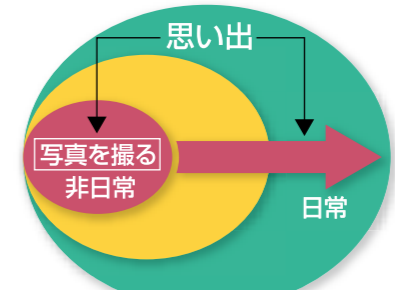
日常のあなたこそ一番あなたらしい写真が「自分づくり」の大切なツールだった

思い出づくり研究所は、さまざまな思い出の残し方について調べています。早稲田大学の野高裕教授を新所長に迎え、過去の記憶としての思い出だけではなく、明るい未来づくりに貢献するための思い出の残し方について調査・分析・考察し、その重要性について社会へ情報発信していく研究所です。

「いつもの日常」が大切な思い出

今日の朝、何を食べましたか？
このような日常の思い出は、何かイベントがあった日の思い出よりも、実は大切なのです。ところが、こういった日常は、簡単に忘れ去られてしまいます。別に忘れてしまっても特に問題

はないと考えるかもしれませんが、でも、こんな日常こそ、あなたの本質があらわれているのです。おめかししてケーキを食べているよりも、普段着でお煎餅を食べている方が、自分らしくて落ち着きますよね。日常的なあなたこそ、一番あなたらしいのです。これが、非日常の思い出よりも、日常の思い出が大事な理由なのです。でも、何もしなければ、日常は忘れ去られていきます。あなたらしいあなたを忘れないために、記録していきましょう。



よく写真を撮る非日常の思い出も大切ですが、日常の思い出も実は大切なのです。



2011[秋冬]腕だめし 旅部門 準特選 「秋を、駆け抜けて」為久公幸さん

「記録する」と言っても、写真を撮るだけでいいのです。では、なぜ写真なのでしょう。他のものと比較してみよう。例えば、動画。動画

は写真と違い、音や動きなどすべてを記録します。写真が写すのは一瞬なので、見る人は自分に都合よく思い出を解釈することができるとは、私たちが、思い出を「都合よく解釈」することを悪いことだと考えず、それを思い出の「進化」だと考え、写真の利点としています。他には文章があります。しかし文章での記録は難しいと感じる人も多いのではないのでしょうか。その反面、写真はあまり知識がなくてもはじめられます。以上のことから、日常を記録するには、写真がベストパートナーだということがわかります。

分て写真を撮らない人には、たとえ他人から撮ってもらった写真があっても、自分の価値観を見ようとしないでしょう。それでも私たちは、写真こそ思い出を保存する最適な道具であり、これらのデメリットを上回るものを持っていると信じています。「思い出づくりに写真は最強か」どうかを研究で明らかにしたいのです。そして、写真がさまざまな場面で有効に使える方法を開発して、広く普及させることを目標としています。それがいつかあなたの手に届くことを願っています。



大野高裕 所長

大野高裕 所長について

大野高裕所長は、早稲田大学創造理工学部経営システム工学科の教授です。主な著書は、「損益計算書入門」「多変量解析入門」「企業行動と経営工学」など。研究室では、主に医療、ファイナンス、マーケティングサイエンス、リアルオプションという4つの分野を研究しています。当初の研究領域は「コストマネジメント研究室」でしたが、現在では環境マーケティングや環境ビジネスモデルの開発、リアルオプションを用いた経営意思決定モデルの開発など、その領域を広げています。

思い出づくり研究所・研究員の皆さん



田中 健太郎さん 飯田 恭弘さん 王 竺さん

お客さま なんでも相談室

Q&A

フォトコンテスト 必勝の極意

カメラのキタムラのコールセンター「お客さまなんでも相談室」その名の通り、カメラや写真のことならなんでも相談できます。今回は、「フォトコンテスト」のお悩みに答えてもらいました。



相談室のご意見番 三宅美郷さん

店頭で質問されることも多いフォトコンテストの疑問。アドバイスした方が入賞したこともあります。お問い合わせの多い質問にズバリと答えます。



よみうり風景写真コンテスト2011 カメラのキタムラ賞 「焼野」池上和夫さん



2011[秋冬]腕だめし 自然部門 特選 「[タマ]on ステージ」上田克彦さん



「日本の祭り」2011 腕自慢部門 グランプリ 「主役」門田勝一さん

Q1 応募する作品はどんな紙にプリントするのがいいですか？

A1 どんなにいい写真でもプリントが悪ければその魅力は伝わりません。最高のプリントで応募することをおすすめします。審査員は、普段からプリントの細部までこだわっているプロの写家です。プリント次第では、写真の印象を一段あげることとできると言えるでしょう。実際に審査の現場では「いい写真なんだけど、プリントがなあ」という声もよく聞きます。カメラのキタムラには最高級品質の「クリスタルプリント」があります。自信作はぜひ最高のプリントで送り出してあげてください。

Q2 応募作品のプリントサイズはどれくらいがいいですか？

A2 応募要項のサイズ指定にもよりますが、写真の表現力が増すように大きいサイズがいいですね。あくまでコンテストの審査基準は作品の質なので、大きいほうが入賞に有利になるわけではありません。しかし、プリントが小さすぎると、作品の質を見極めるのが難しくなるので、応募要項のサイズ指定を確認し、なるべく大きいサイズにする方がいいですね。プリントが大きくなれば、被写体も大きくなるので、作者の表現したいものが伝わりやすくなります。

Q3 応募する作品選びに迷ったときはどうすればいいですか？

A3 気持ちを落ち着かせるために、冷却期間を置いて、写真を選び直してみるというでしょう。撮影直後は特に思い入れが残ります。そんなときには、冷静な判断ができなくなるものです。候補の作品を普段の生活のなかで目の届くところに置いておき、一週間くらい眺めることで作品を客観的に見ることができるとは、そんなときに欠点などに気づく場合があるので、そこで選定していきましょう。それでもまだ作品を絞れないときは、いっそのこと、複数の作品をコンテストに送ってしましましょう。最近のコンテストでは複数応募も可能なところが多くなっています。それだけ迷ったのであれば、両方とも素敵な写真に違いありませんからね。



HDI(ヘルプデスク協会)の国際基準に基づいたお問い合わせ窓口格付けで「3つ星」の評価をいただきました。



お客さまなんでも相談室
PCC会員専用電話番号
050-3033-0066
受付時間10:00~20:00 年中無休

<http://www.kitamura.jp>

カメラのキタムラ 検索



見れば読みたくなる、読めば撮りたくなる
「365日フォトコンテスト」ページは、クラブ
り受賞者のインタビューつきで、どうすれば上位
に入るかのコツがわかります。

秋は構図で 差をつける

作品の完成度を高める
画面構成のコツとカン

『フォトコンライフ』は
全掲載作品を選評つきでおくる
フォトコンテスト専門マガジン。
うれしいDVDつきです。



写真：萩原史郎

作品の完成度を高める
画面構成のコツとカン
「秋は構図で差をつける」

『フォトコンライフ』巻頭特集は、
テーマに沿った写真家がさまざ
まなシーン別の撮り方を細かく
レクチャー。今回は「秋は構図
で差をつける」。萩原史郎さん、
杉本恭子さん、山口高志さんの3
人の写真家が撮るそれぞれの秋
の風景を見開きで大きく見るこ
とができます。



「写真ドラマインタビュー 写真人」
No.15 相沢 功さん

写真を通じて見えてくる人々のドラマを、撮影
者本人に直接インタビュー。今回は『フォトコ
ンライフ』掲載多数の相沢 功さん。ピギナー時
代のお話や、奥さんを巻き込んだフォトライフ、
地元・福島への思い入れなどをうかがっています。



『フォトコンライフNo.51』
2012年秋号 9月10日発売
お求めは全国の書店かカメラのキタムラ店頭で

双葉社刊
〒162-8540
東京都新宿区東五軒町3-28
TEL:03-5261-4818(営業)
http://www.futabasha.co.jp

ただいま制作中

岡本洋子さんの春の撮影術

『フォトコンライフ』No.53
号からは、特別付録DVDに
岡本洋子さんが出演予定。
桜のシーズンにあわせて春
号の撮影術をします。岡本さ
んは春の撮影術をどのよう
に伝授してくれるのでしょうか。
No.53のDVDをお楽しみに。



日光の社寺を撮影するため、紅葉茂る
石段を登るフォトコンライフ編集部

「日光の紅葉は、散策をしなが
ら自分だけの被写体を探せる最
適な場所です。ここだという風
景を見つけたら、何度も足を運
ぶことをおすすめします」。今
年の秋は自分の被写体を見つけに
紅葉散策に出かけてみるのもい
いかもありませんね。
他にもDVDでは三好さんの
紅葉撮影術が満載。続きはぜひ
DVDをご覧ください。



付録DVD 秋号
「秋の粹」



DVDの中身を覗き見!

フォトカルチャー倶楽部最新レポート
「Gサミット全国交流会
2012」



全国のフォトコンテストグラン
プリ作品が終結するPCC主催「G
サミット」。著名写真家やグラ
ンプリ受賞者との交流の様様を
レポートします。



三好和義(みよし・かずよし)
1958年生まれ。1985年、初めての写真集「RAKUEN」で木村伊兵衛賞を受賞。
以降「楽園」をテーマに、タヒチ、モルディブ、ハワイをはじめ世界各地で撮影、
その多くは写真集として発売。
近年は伊勢神宮、屋久島、仏像など日本での撮影も多い。
近著は「世界遺産・小笠原」(朝日新聞出版)

フォトコンライフの
テーマ別フォトコンテスト
「秋のある風景」
グランプリ決定の瞬間



審査員に写真家・丹地敏明さん
と小松ひとみさんを迎え、グラ
ンプリ決定の瞬間をお届け。グ
ランプリ作品は選評とともに紹
介し、入賞のコツも満載です。

谷口泉のデジタルカメラ講座
「現像パラメータで
絵づくりを楽しむ」



デジタルカメラの「現像」とは？
デジタルカメラの絵作りに欠か
せない現像パラメータとは？デ
ジタルカメラの現像、絵づくり
の秘密を一挙解説します。

三好和義が撮る
日本の四季シリーズ秋編
「紅葉の撮影テクニック」



写真家・三好和義さんが日光を
舞台に、紅葉撮影術を詳しく解説。
テクニックを駆使して、有名観
光地の紅葉が、次々に三好色に
染まっていきます。

三好流・紅葉撮影は 自分だけの被写体を 発見する

『フォトコンライフ』付録DVDを覗き見

9月10日発売の『フォトコンライフNo.51』特別付録DVD。
その「コーナー」三好和義さんが撮る日本の四季シリーズ秋編「紅葉の撮影テクニック」では、
写真家の三好和義さんが紅葉の名所、栃木県日光市を訪れ、
撮影ポイントとテクニックをレクチャー。
人とは違う紅葉写真を撮るにはどうしたらいいのか、DVDで紹介されているなかから、
紅葉撮影に使える極意の部分を「フォトコンライフ」編集部がこっそりお伝えします。

構図に変化をつけて、
写真を撮りくらべる

ふもとの駐車場から歩くこと
約20分。三好さんは広角レンズ
を取り出し、錦秋の風景にカメ
ラを向けました。

「特別な風景に出会うと、ファ
インダーをのぞくだけではな
なか構図が決まらないんです。
そんなときはとりあえずシャッ
ターを押して写真を確認して
みましょう。その繰り返しなか
で、よいと思える構図が見つかる
はず」と三好さん。感動のあ
まり、何を撮っていいのかわか
らなくなるのは、三好さんも同
じ。そんな言葉を聞いて、私たち
マチュアはほんの少し安心しま
した。

その後も、被写体を探しなが
ら話をうかがうと、「コンテス
トで入賞をねらうならば、他
の人が撮らないような写真を目
指してください。誰もが同じ場
所で撮影する観光写真では、う
まく撮っても、高い評価を得ら
れません。自分だけの被写体を見
つけましょう」とコンテスト必
勝のコツも教えてくれました。

「日光の紅葉は、散策をしなが
ら自分だけの被写体を探せる最
適な場所です。ここだという風
景を見つけたら、何度も足を運
ぶことをおすすめします」。今
年の秋は自分の被写体を見つけに
紅葉散策に出かけてみるのもい
いかもありませんね。
他にもDVDでは三好さんの
紅葉撮影術が満載。続きはぜひ
DVDをご覧ください。

「写真を撮るならココがベストスポット
美しい日本の風景1000」



日本全国の風景を1000点もの写真で紹介! アクセスや観光情報も載っています。

日経ナショナル ジオグラフィック社
1,995円(税込)

『こころの風景』



「よみゆり風景写真コンテスト」の受賞作品を掲載。全国各地のレベルの高い作品を採めます。

中央公論社
1,890円(税込)

『日本の祭り』



祭りの写真を約400点を掲載。コンテスト受賞作品から祭り写真のテクニックを学べます。(→P44)

辰巳出版
1,680円(税込)

「撮る!応募する!上手くなる!
フォトコンテスト 必勝の極意」



全国の入賞作品から撮影術を学ぶべく、コンテストに活かすコツや技術を紹介しています。(→P45)

双葉社
1,785円(税込)

「シニアのための写真塾
孫を100倍かわいく撮る」



孫とカメラを愛するジジイ&バババに、撮影の基本から、極上のテクニックまで伝授します。(→P44)

祥伝社
1,575円(税込)

「写真がもっと上手くなる
デジタル一眼
撮影テクニック辞典101」



デジタル一眼の初心者から、レベルアップを望む中級者を対象にした実践テクニック本です。

インプレスジャパン
1,050円(税込)

『カメラをつれて
まきばへ行こう!』



羊、アルパカ、ミニブタ...かわい動物たちの「まきば写真」撮影ガイドブックです。

技術評論社
1,344円(税込)

『カメラをつれて
山歩へ行こう!』



山ガール必見! 山での被写体の見つけ方と撮り方がわかる本です。巻末には全国山ガイドつき。

技術評論社
1,344円(税込)

『-デジタル一眼 撮影手帖-
散歩と旅で写真が上手くなる』



34のシーン別撮り方を、豊富な実例で紹介。PCCのフォトインストラクターが解説しています。

日経ナショナル ジオグラフィック社
1,890円(税込)

『写真をもっと魅力的に撮るための
構図のお手本帖』



基本の構図パターンから、被写体別の画面構成まで、一作品ずつ丁寧に解説しています。

エムティエヌコーポレーション
2,100円(税込)

『フォトコンライフ』



全掲載作品を選評つきで紹介するフォトコンテスト専門マガジン。嬉しいDVDつきです。(→P32)

双葉社
1,400円(税込)

『露出&WBテクニック100』



「テクニック100」シリーズ第三弾! 露出とホワイトバランスに特化したテクニック本です。

玄光社
1,890円(税込)

『ポートレート
撮影テクニック100』



「テクニック100」シリーズ第二弾! この一冊でポートレートのすべてがわかる!

玄光社
1,890円(税込)

『風景&ネイチャー
構図テクニック100』



自然風景の構図に着目したテクニック本です。写真家がみせる100の技術が見逃せません。

玄光社
1,890円(税込)



GW-PRO CAMERA HOLSTER

風景に出会う、その瞬間。逃さない、という性能。

新発売

写真はカメラ装着例です

GW-PRO 検索

●製品改良のため予告なく仕様、デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

HAKUBA PHOTO AUDIO VIDEO ACCESSORIES

本格カメラバッグのブランドとして生まれ、プロ向けという思想が受け継がれてきたGW-PRO。いま新たに、すぐに撮影できる、という機能を具象化したホルスタータイプが新登場。ベルトキャリングをベースに、撮影のねらいによって装着ポジションが変えられる新スタイル。奥行きに制限がないので、長いレンズに交換しても持ち歩くことができます。

身体前面への装着 腰への装着 長いレンズにも対応

肩掛けでの装着 斜めがけでの装着

GW-PROカメラホルスター ●対応レンズ最大径:110mm(フード含む)
●付属品:メインベルト、サイドベルト、盗難防止用補助ベルト、ショルダーパッド、フラップ調整用樹脂ボード
希望小売価格(税込) ¥10,710

ハクバ写真産業株式会社 お問い合わせ先 受注センター TEL: 0568(85)0898 FAX: 0568(85)0899

PENTAX A RICOH COMPANY

DRIVE!

僕を走らせる一眼。

K-30

NEW!

クリスタルブルー

□視野率約100%ファインダー □防塵・防滴構造 □最高ISO25600(拡張設定) □6コマ/秒の高速連写 □高速・高精度の新AFシステム

PENTAX 検索

ペンタックスリコーイメージング株式会社 http://www.pentax.jp

フォトコンテストは「評価の場」 応募する。そして自分ならではの写真をを見つける

PCCおすすめフォトコンテスト

「日本の祭り」写真コンテスト2012



「日本の祭り」2011 腕自慢部門 グランプリ
「主役」門田勝一さん



「日本の祭り」2011 腕だめし部門 グランプリ
「鯛切り祝い舞」中野英治さん

「日本の祭り」写真コンテスト2012は、祭りの伝統と誇り、郷土の美しさ、人のあたたかさをとらえた写真をお待ちしています。中級者～上級者向けの「腕自慢部門」、初級者向けの「腕だめし部門」があり、どなたでもご応募できます。

【応募方法】カメラのキタムラ店頭で受付いたします。
【応募期間】2012年11月15日(木)まで ※当日消印有効
【応募規定】腕自慢部門:6切・W6切・A4・4切・W4切
腕だめし部門:はがきサイズ・2L・6切・W6切・A4
【主催】NPO法人 フォトカルチャー倶楽部

秋山庄太郎 「花」写真コンテスト2012



写真家・秋山庄太郎のライフワーク「花」。写真芸術として「美しい花をより美しく撮る」がその原点です。秋山庄太郎創始による、「花」写真コンテストは、2002年の第1回から数え、10回目を迎えました。「写真芸術の振興」と「福祉支援」、コンテストの志は今も受け継がれています。

秋山庄太郎記念「花」写真コンテスト2011
グランプリ秋山庄太郎賞
「雫」佐藤武男さん

【応募方法】郵送にて受付いたします。「秋山庄太郎「花」写真コンテスト」と明記の上、下記住所までお送りください。
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-4-1新横浜WNビル7Fカメラのキタムラフォトコン事務局
【応募用紙】応募の際は応募用紙が必要です。下記ホームページからダウンロードするか、カメラのキタムラ店頭でパンフレットを入手ください。
http://www.kitamura.jp/contest/
【応募期間】2012年10月31日(水) ※必着
【応募規定】A4・6切・W6切 カラープリントに限りません。フィルム(ネガ・ボジ)、デジタルのどちらでも可。他のコンテストなどに応募中や応募予定である作品、または過去に入賞した作品は応募できません。

365日フォトコンテスト2012[秋冬]



2011[秋冬]腕自慢 風景部門 グランプリ
「パール富士」石川欽庸さん



2011[秋冬]腕自慢 人部門 特選
「ハイ!ポーズ」高橋昌平さん



2011[秋冬]腕自慢 自由部門 グランプリ
「視線」渡部久恵さん

シャッターチャンスも応募のチャンスも365日!! 365日を通して、応募総数約10万点となる全国最大規模の写真コンテストです。全国約1000店舗のカメラのキタムラ店舗で受付しています。コースと部門を選んでご応募ください。上位入賞作品は本誌誌上でも掲載します。

【応募規定】
腕自慢コース:
●風景部門 ●人部門 ●自由部門
6切・W6切・A4・4切・W4切
腕だめしコース:
●自然部門 ●旅部門 ●ペット部門
●子ども＆赤ちゃん ●自由部門
はがきサイズ・2L・6切・W6切・A4
【応募方法】カメラのキタムラ店頭で受付いたします。
【応募期間】2012年11月15日(木)から2013年3月15日(金)まで
【主催】NPO法人 フォトカルチャー倶楽部

よみうり風景写真コンテスト2012



よみうり風景写真コンテスト2011
グランプリ
「強く、生きる」木村洋介さん

あなたの残しておきたい、伝えていきたい日本の風景はどこですか? 忘れたくない懐かしい場所、伝統文化を脈々と受け継ぐ人々、四季折々の衣をまとう鮮やかな自然。誰しもが持っているところの風景をお寄せください。東日本大震災からの復興の様子を撮った写真もお待ちしています。

よみうり風景写真コンテスト2011
グランプリ
「強く、生きる」木村洋介さん

【応募方法】カメラのキタムラ店頭で受付いたします。
【応募期間】2012年10月8日(月)まで ※必着
【応募規定】2L・6切・W6切・A4・4切・W4切(カラープリントに限る)
【主催】読売新聞社



月1回の定期活動は町並や人々の暮らしを撮影



新しいサークルがPCCの仲間になりました



PCCには、仲間と写真を楽しむための「サークル」があります。撮影会や講習会、先生を招いて勉強会、写真展で作品発表など活動の内容はさまざま。今回は写真を通して、町おこしや地域の活動に貢献しているサークルを紹介。みんなの活動を参考に、あなたもサークルを立ち上げてみませんか。

今月のサークル

美しい町並を残したい
山梨「赤沢写真講」

歴史的な町並が美しい山梨県「赤沢宿」。四季折々の自然、石畳が続く町並と重要伝統的建造物群保存地区に指定された建物が赤沢宿の魅力です。かつては身延山久遠寺から七面山へ参詣する人でにぎわいました。しかし、時代がかわり訪れる人も減りました。

NPO法人日本上流文化圏研究所は「赤沢宿にぎわいを戻したい」と写真を切り口に町おこしを取り組むことに。「赤沢の情報」のように発信していけば、たくさんの方が訪れてくれるようになるのか」と悩んでいたとき、フォトライフ四季が目にとりPCC事務局へ相談に行きました。

写真サークルで赤沢の魅力伝えるのはどうかというアドバイスをもらい、サークル「赤沢写真講」が立ち上がりました。写真を通して赤沢に注目を集め、人を呼びたい。それが美しい「赤沢宿」の町並を残すことにもつながると信じています。現在、メンバー募集中。得意な写真を活かして、一緒に赤沢を盛り上げてくれる方をお待ちしています。

私が源。近くにならなかつくつちゃおう

サークルづくりの手順

①サークル名を決める

②仲間を集める

友人や、友人の友人を誘います
(立ち上げ時は仲間がいなくてもOK)

③ブログや、Web上の写真保存サービスを立ち上げる

みんなの作品発表、活動のお知らせができます

④PCCに申請する

ホームページやフォトライフ四季でメンバー募集・活動報告ができます



NPO法人 日本上流文化圏研究所
赤沢写真講 担当 小谷
TEL 0556-45-2160
〒409-2727 山梨県南巨摩郡早川町葉袋430
早川町交流促進センター内

撮影会のお知らせ

写真家の鹿野貴司さんを講師に迎え、11月・2月に撮影会を開催。身延山や七面山など地域の歴史に触れながら、普段は入れない建物のなかを撮影できま。お気軽にお問合せください。

PCCカメラ女子部 Lumiere

写真の楽しみ方、撮るだけじゃもったいない

写真・文 のだまゆ

今回のルミエールはPCCのアルバムづくり講座「アルバムカフェ」と合同開催。子どもの成長記、旅行記、友人の結婚式アルバム、風景写真の写真集など、題材はさまざま。つくっている最中に撮ったときのことをじわじわ思い出し、話が止まりませんでした。写真にコメントを添えたり、飾りつけしたり、ちょっとした工夫で何度も見返したくなるアルバムができたこと大好評でした。



次回は10月7日(日)12～14時「ご飯をおいしく撮る」撮影会(横浜)



「撮るだけじゃなく、見せるまでが写真!」という声も

マスキングテープで華やかに

大阪「フォト浪漫」 PCC会員おすすめ写真クラブ

写真で人の心を癒したい

「フォト浪漫」は大阪府岸和田市のカメラ愛好家5人からスタートしました。私たちは地区のスポーツの写真撮影をしたり、写真を病院に展示したりと人の心の癒しになるよう活動しています。毎月撮影会と勉強会をし、年に1度バスに乗って撮影会へ。また、毎年4月に写真展を開催。写真で親睦を深め、迫力ある作品をつくっています。



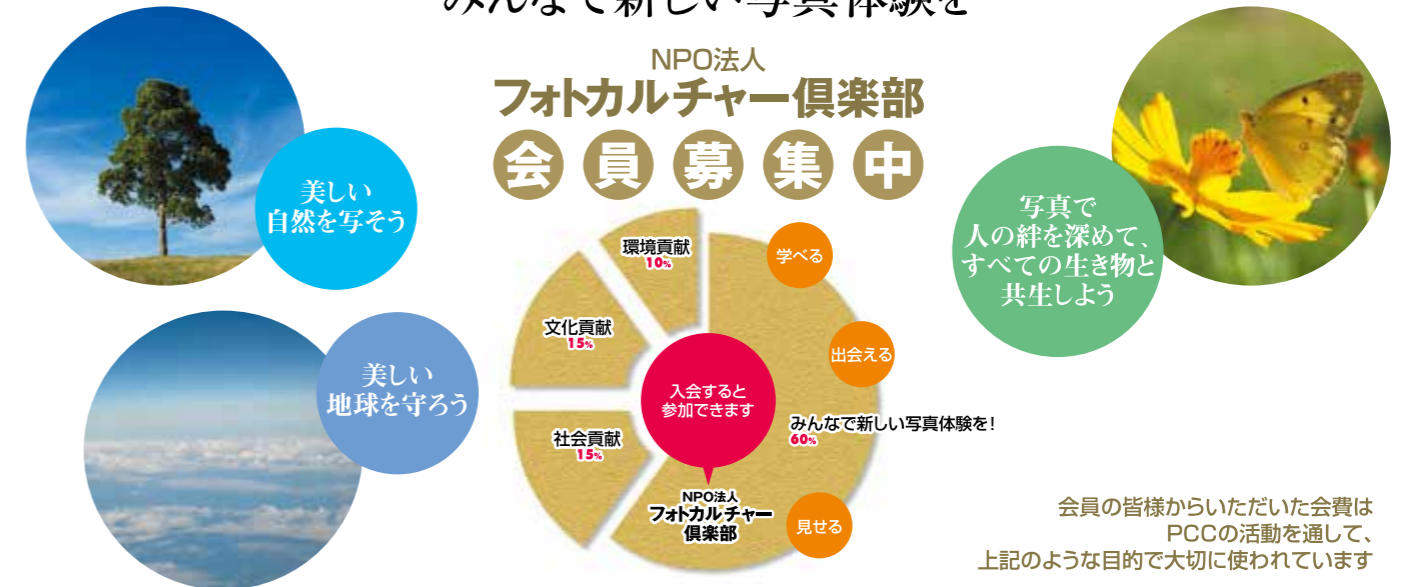
今年4月の写真展は産経新聞に掲載されました



現在メンバーは27名

写真の力で社会・文化・環境保護貢献

みんなで新しい写真体験を



社会が、笑顔が つながる、ひろがる

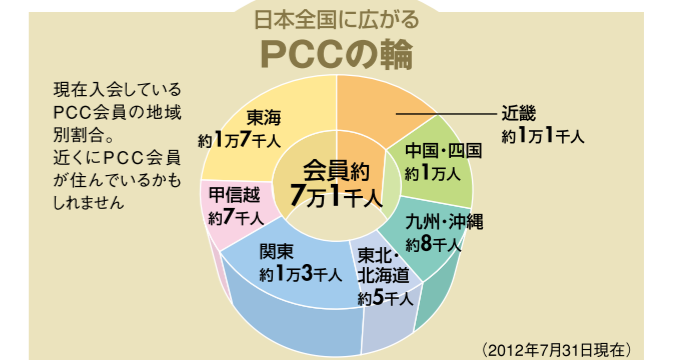
- 1 「G(グランプリ)サミット」開催でフォトコンテストを活性化
全国のフォトコンテストのグランプリ作品を一堂に展示。また、展示作品を収録した「フォトコンテスト 必勝の極意」を発売。作品を見てもらえる場を提供しています(→P36、45)
- 2 「写真年賀状コンテスト」で日本の伝統文化を継承
応募作品1枚につき10円を東日本大震災被災地に義援金として寄付しました(→P26)
- 3 「フォトブック甲子園」開催で思い出を形に
残したい、見せたい、写真は一生の宝物。フォトカルチャー倶楽部では、「フォトブック」という新しい思い出写真の残し方を提案しています
- 4 「美しい日本の風景1000」出版
応募者自慢の撮影スポットを紹介。いつまでも残したい自然風景を再発見できます。作品応募料の一部を環境保護活動に寄付しました(→P35)
- 5 各地開催フォトコンテストや写真展に協力
「365日フォトコンテスト」「日本の祭り」フォトコンテストの主催。ナショナルジオグラフィック主催「国際写真コンテスト」、プレジデント社主催「環境フォト・コンテスト」などに協力(→P8、39、47)

カメラを、写真を 学べる

- 1 著名写真家によるプライベート講評 (3枚セット7,000円)
丹地敏明先生、沼田早苗先生、福田健太郎先生、秦達夫先生、田邊和宜先生、山本学先生などの写真家が丁寧にわかりやすく講評
*応募用紙はHPからダウンロード、又はお電話でご請求ください
- 2 DVD写真アドバイス
毎月20名様限定。作品をDVD上で無料レッスン。もちろん出来上がったDVDをプレゼント。官製はがきが①氏名(フリガナ)②〒住所③電話番号④会員番号をご記入の上ご応募ください。抽選で受講応募用紙をお送りします(→P48)



他にも、さまざまな写真教室・撮影会をご紹介。写真の腕前がみるみる上達します(→P40)



会員特典

- PCC会員なら 年会費 1,500円**
- 特典 その1 **情報誌『フォトライフ四季』プレゼント**
作品発表の場、交流の場、情報満載の「フォトライフ四季」を年4回ご自宅にお届けします
- 特典 その2 **プリント商品・フィルムの10%割引**
PCC会員証のご提示で、カメラのキタムラなど協力店でのプリント商品が店頭価格より10%割引になります
【対象商品の一例】
*協力店はHPでご確認ください
*他の割引との併用は不可
*店頭でお支払いされる場合のみ適用
*フィルムの割引はカメラのキタムラでのみ適用
- 特典 その3 **賛助会員の特典利用**
- 子ども写真館「スタジオマリオ」のお写真代10%OFF (店頭でお支払いされる場合のみ適用・他の割引との併用は不可)
 - スーパーホテルで通常宿泊費が30%OFF(月・金・日曜日限定、学生・60歳以上の方対象、一部対象外施設あり) ※ご利用されるホテルにご確認ください
 - ニッポンレンタカーでレンタカー利用基本料が約5%OFF (一部対象外クラス・対象外地域あり)
 - 休暇村本館宿泊費・キャンプ場サイト利用料が10%OFF
 - ALSOK総合警備保障のホームセキュリティご契約時、五千円もしくは一万円キャッシュバック などなど ※詳しくはPCCホームページをご覧ください

- PCC プレミアム会員なら 年会費 4,000円**
- 特典 その4 **撮影情報誌『フォトコンライフ』プレゼント**
双葉社刊 定価1,400円の季刊誌を年間4冊ご自宅にお届けします ※入会時期により、お届けする号が変わります
- 4冊5,600円が4,000円で手に入って断然お得
- 見て学べる DVDつき

お申し込みは

カメラのキタムラ カメラのキタムラ店頭で *手数料不要

BK 口座自動振替払いで ☎ 必要書類をご請求ください *手数料不要 *毎年の更新手続き不要

クレジットカード払いで ☐ ウェブでお手続きが可能です。または ☎ 必要書類をご請求ください *手数料不要

24 コンビニ振込で ☐ ウェブでお手続きが可能です。または ☎ 必要書類をご請求ください

郵便局振込で ☎ 必要書類をご請求ください

約2週間後に会員証・情報誌等をお届けします

フォトカルチャー倶楽部へのご入会・お問い合わせ先

特定非営利活動法人 **フォトカルチャー倶楽部 事務局** TEL.03-3356-3552 <http://npopcc.jp> フォトカルチャー倶楽部 検索

受付時間 10:00~18:00(土日祝は除く) blog <http://blog.canpan.info/npopcc/>

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205

七五三撮影は顔認識機能を使って笑顔をとらえる

こんにちは本です 写真・カメラの基本から、撮った写真の活用まで、プロの写真家が各シーン別に丁寧に指導。思わず微笑みあどけないカット満載の、パーフェクト撮影ガイド。

シニアのための写真塾 孫を100倍かわいく撮る

出版社 祥伝社
定価 1,575円(税込)
問合せ先 03-3265-2081
URL http://www.shodensha.co.jp/



お孫さんを撮るためのコツがシーン別で解説されている「孫を100倍かわいく撮る」。発表会やイルミネーションなど、お孫さんとカメラと一緒に、もっと幸せな時間を過ごす撮影術が掲載されています。

「七五三の1日を余すことなく撮影する」では普段と違う神秘的な顔をみせるお払いの様子や、外に出て晴れやかな笑顔を浮かべているところなど、いろいろな表情の切り取り方を学ぶことができます。

特別な日の大事なシャッターチャンスを見逃さないためには、カメラの顔認識機能を使うことが大切。笑顔を認知してピントを合わせてくれるので、正面を向いていれば家族全員の表情もとらえることができるそうです。

また、紅葉の季節であれば、着物と紅葉の色の組み合わせを考えて背景を選ぶようにすると、色鮮やかな写真を撮れます。頭につけている手づくりのかんざしをアップで撮るなど、表情だけでなく思いのこもったものを記録しておくといよいよです。

そのほかにも、アルバムのつくり方など思い出を残す方法も掲載されているので、撮影後の楽しみ方もこの一冊でわかります。

フォトコンテストグランプリ作品から写真を学ぶ

こんにちは本です 全国のフォトコンテストグランプリ作品から学ぶ撮影のコツを紹介。写真を上達させるためのヒントが満載です。

撮る!応募する!上手くなる!
フォトコンテスト 必勝の極意
出版社 双葉社
定価 1,785円(税込)
問合せ先 双葉社(営業部) 03-5261-4818
URL http://www.futabasha.co.jp/



全国のフォトコンテストのグランプリ作品を掲載した、PCCと賛助企業クラブツーリズム編「フォトコンテスト必勝の極意」。そのなかの「写真がうまくなる知恵はすべてフォトコンから学べる」ではPCC理事の板見浩史氏が解説をしています。

板見氏はグランプリ作品掲載ページを写真上達の近道にするために4つのポイントをあげています。その4つとは、

- 1 写真作品は素直に謙虚に鑑賞する
- 2 最初に写真を鑑賞する時は選評を隠す
- 3 撮影データから傑作の秘密を盗む
- 4 人のタイトルを見て言語感覚を磨く



審査員が写真観をかけた選んだグランプリ作品。作品のよさがわかるまでじっくり見てどこがよいのか、自分ならどう撮るかなどの考察や想像をしてみると効果的だと語っています。

作品をただ応募するだけでなく、写真を学ぶ気持ちでコンテストに挑戦することをすすめる板見氏。「転んでもただでは起きない」気持ちで本誌から写真上達のヒントを得ましょう。

フォトライフ四季 編集部もおすすめ これがイチオシ記事

カメラ、写真関連の書籍、小冊子の誌面から、イチオシの記事をピックアップ。もっと詳しい情報を知りたくなったら、本を手にとってみてください。

下調べと集中力で決定的な一瞬を撮り逃さない

こんにちは本です 「日本の祭り」写真コンテスト2011の入賞作品400点を掲載。すばらしい写真の数々が見られ、日本全国の祭りを網羅した「撮影年鑑」も収録されています。

日本の祭り
出版社 辰巳出版
定価 1,680円(税込)
問合せ先 03-5360-8064
URL http://www.tg-net.co.jp/



「日本の祭り」写真コンテストの腕自慢部門グランプリに選ばれた門田勝一さんに撮影のコツをうかがいました。

グランプリ受賞作品「主役」は、高知県大元神社の御旅所の前の浜・赤野海岸に奉納される獅子舞を撮影したそうです。事前に写真仲間から情報収集をしてイメージを練り、現地に早めについて地元の人と話しながら撮影をする門田さん。「撮影のチャンスは自分でつくるものであり、集中力を途切れさせないことが大切」と語ってくれました。

本誌では作品づくりのコツを門田さん含め9人の受賞者から学ぶことができます。

PCC会員限定プレゼント!

『日本の祭り』こちらをPCC会員20名様にプレゼントします。官製はがきに①氏名②住所③電話番号④会員番号⑤今回の「フォトライフ四季」でおもしろかったページ⑥「フォトライフ四季」、PCCでやってほしいことを記入の上ご応募ください。PCC会員への入会は→P42

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
応募先
応募期限:2012年9月30日(日)※当日消印有効
当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

既成の価値観を揺るがしたロンドンアートに魅せられる

こんにちは本です 写真・アート・ファッション・音楽などをテーマに毎月新しい切り口で幅広いジャンルを紹介する『SHUTTER magazine』。写真アートの歴史を深く学ぶことができます。

SHUTTER magazine Vol.5(季刊誌)
出版社 サンクチュアリ出版
定価 840円(税込)
問合せ先 shutter.magazine@gmail.com
URL http://www.shutter-mag.com/



2012年6月発売号Vol.5「ロンドン・カルチャーに触れられる アートBOOKたち」では、英国の著名写真家・ランキンが立ち上げたデイズド&コンフェューズドの20周年記念本やニック・ナイトの作品集などを紹介。「SWINGING LONDON」という言葉に象徴され、奔放に時代を駆け抜けたロンドンのアートBOOKを編集部独自の視点で選んでいます。

シニカルでアグレッシブなのがUKアートの魅力。既成の価値観を揺るがす作品の数々は、現代美術の世界でも燦然たる輝きを放っています。

そのほかにもロンドン市街地のギャラリートップをまとめた「写真、アート好きのための最新ロンドンガイド2012」も掲載。伝統と革新を併せ持つロンドンのすべてがわかります。

また、9月末発売の最新号Vol.6は「ニュー・エイジ・クリエイティヴズ」を特集します。



ハイスペック・フルサイズ

5



地球の光をすべて受けとめるために。

圧倒的な光景と対峙し、躍動的な被写体を捉えるために。“5”は、いま、さらなる進化を遂げた。高性能約2230万画素CMOSセンサーの搭載。驚嘆の低ノイズ。流麗な階調性。常用ISO感度100～25600(拡張102400)の余裕。61点高密度レティクルAF、最高約6コマ/秒の機動性。フルサイズデジタル一眼レフが創造すべき、真の高画質のための先進機能がここに。

○35mmフルサイズ 約2230万画素CMOSセンサー ○常用ISO感度100～25600(拡張ISO感度102400) ○最高約6コマ/秒の高速連続撮影 ○61点高密度レティクルAF ○視野率約100%高倍率ファインダー ○DIGIC 5+

EOS 5D Mark III NEW
canon.jp/5dmk3
EOS 5D Mark III-ボディ
EOS 5D Mark III-EP24-105L IS U レンズキット
EOS SYSTEM 2012



4月29日 金環日食フィルター使い方講座で、右からキタムラの中村史人さん、ケンコー・トキナーの庄司正也さん、田原栄一さん、PCC野田、キタムラの石川さん



5月18日 そごう柏店でPCCフォトインストラクター樋口 徹さんの東京スカイツリー写真展で、左からそごう柏店の清水 香世子さん、PCC若林



5月19日 JPS主催の講演会「生涯現役—女性報道写真家第1号・笹本恒子97歳」の楽屋で、右から講演者の世本さんと、インタビュアーを務めたPCC板見



5月20日 東京写真月間「こどもの目線」展キックオフイベントで、右から読売新聞東京本社の横山 聡さん、PCC松尾

点を縁に、縁を絆に

PCC多事多忙録



6月19日 左からNPO法人 日本上流文化園研究所の小谷安矢さん、山梨県観光部の渡井宏之さんとPCC松尾、野田



6月21日 芳賀日向写真展「東日本大震災・被災地の夏祭り」で、右からPCC小林、写真家・芳賀日向さん、PCC松尾



7月12日 富士フィルム イメージングシステムズとの打合せで、左から岡田昌幸さん、加藤玲子さん、大川 晃さん、名取雅文さんとPCC野田



7月12日 賛助企業アビバ「ホームコンプレックス」主催「デジタルフォトコンテスト」にPCCが協力。右からホームコンプレックスの柏木 理さん、PCC板見、ホームコンプレックスの三上浩紀さん

PCC会員特典 無料で写真レッスン

DVD写真アドバイス



写真を見るプロがあなたの作品を無料で講評。レッスンの様子をDVDに収録します。講評するのはPCC理事でフォトエディターの板見浩史さん。DVDは会員の元に郵送され、ほかの作品の講評も聞けて勉強になります。ご希望の方は、官制はがきに①氏名(フリガナ)②〒住所③電話番号④会員番号をご記入の上、右のPCC事務局まで。抽選で受講応募用紙をお送りします。

撮影を担当するのはカメラのキタムラ動画チーム(左) 各作品をトリミングスケールを使って丁寧に添削(右)

皆さんの写真送ってください

PCC会員と皆さんで作る「フォトライフ四季」に、お気に入りの写真を応募してください。

応募方法

プリントの場合:写真サイズ:はがきサイズ、2Lサイズ
写真の裏に必要事項(※)を貼付、ご郵送ください。
データの場合:写真サイズ:2MB前後(350dpiで10cm×15cm程度)
メールのタイトルに「フォトライフ四季に載りたい」、本文に必要事項(※)を記入、送信してください。

※必要事項
①氏名(フリガナ)②〒住所③電話番号④希望のコーナー(表紙、P12、P24)⑤タイトル⑥撮影地⑦ひとことコメント(撮影の工夫やエピソードなど)

83号(2012年12月10日発行)掲載分は、9月20日(木)まで
84号(2013年3月10日発行)掲載分は、12月20日(木)まで

送り先

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
「フォトライフ四季に載りたい」係
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
☎03-3356-3552 Eメール satsuei@npopcc.jp
※使わせていただく場合のみご連絡いたします。お問合せはご遠慮ください。
また、PCCブログに掲載させていただく場合があります。

募集のおさらい

表紙……………P1
PCC会員の腕自慢……………P12
被写体大辞典……………P24

ここにも募集があります

募集要項は各ページをご覧ください
フジフィルム X-Pro1 プレゼント……………P15
ギャラリー体験談募集……………P29
PCCフォトインストラクター募集……………P37
このゆびとまれ……………P41
「日本の祭り」プレゼント……………P44

日常写飯
夏が過ぎれば 暑さを忘れる

だんだんと秋の気配を感じられるようになってきましたが、厳しい暑さも過ぎてしまえば惜しく感じ、冬が来れば暑い方がよかったなどと、人間はなんて身勝手なのでしょうね。それでもこの情報誌のタイトル通り「四季」があることは幸せなのかもしれません。もしも赤道直下で常夏ならば、それはそれで過ごしやすいかもかもしれませんが「フォトライフ常夏」では編集がきっと難しいですね(笑)。「夏と冬のどちらが好き?」という質問がありますが、冬は寒ければ着込むことで対応できますが、夏はハダカになっても暑いときは暑いです。未来ではもっと快適な生活ができるのでしょうか、エアコンのなかった時代を考えればありがたい話です。ひとまず今は涼しくかわりゆく秋を楽しみましょう。四季万歳!!

(若林)

皆さんのご要望にお応えしています



いつも「フォトライフ四季」へ、おはがきありがとうございます。皆さんからいただいたご意見、ご要望は、「フォトライフ四季」づくりに役立させていただいています。皆さんからのご期待にお応えするため、今号の各ページに反映するようにいたしました。今後ともさらなる飛躍をご期待ください。

頂点という、原点。



X-Pro1 NEW

レンズ交換式プレミアムカメラ X-Pro1 オープン価格

■ 限りなき高画質の追求。その歴史は、3本の単焦点レンズから始まる。

● XFレンズ ラインナップ

XF18mmF2 R (35mm判換算: 27mm)

XF35mmF1.4 R (35mm判換算: 53mm)

XF60mmF2.4 R Macro (35mm判換算: 91mm)

色収差を徹底的に抑えた専用設計。レンズは、非球面を含むすべてのレンズが高品質なオールガラス製で、フジノン独自のスーパー-EBCコーティングを採用。また、高品位な金属製の鏡筒と1/3ステップの絞りリングにより、きめ細かな絞り設定が可能。 ◎交換レンズは別売です。



■ レンズ性能を最大限に引き出す、オリジナルXマウント。

短いフランジバック(17.7mm)と、レンズを約7.5mmまで深くもぐり込ませる開口部を確保。短いバックフォーカスにより、画面周辺部までの高い解像度を実現。さらに、高速フォーカスブレーンシャッターにより、ライブビューに対応しながら、シャッタータイムラグ0.05秒のスピーディな撮影が可能。

■ レンズの解像力をすべて発揮させる、新開発X-Trans CMOSセンサー。

フィルム発想の新カラーフィルター配列で、光学ローパスフィルターを使わず最高峰の解像度を実現。さらに、新センサーの緻密な画像信号をより高速・高精度に処理する、新たなEXRプロセッサ-Proを搭載。

■ レンズに合わせて倍率を変化させる、ハイブリッドマルチビューファインダー。

光学ファインダー(OVF)と電子ビューファインダー(EVF)を状況や狙いに合わせ、自在に切り換えることが可能。専用レンズを交換すると、自動的にファインダー倍率が切り換わり、ブライトフレームの大きさも変化。



**キャッシュバック
キャンペーン**

9/28 (金) 最終締切迫る!

詳しくはこちら

http://fujifilm.jp/x_cashback/

FinePixサポートセンター(全国共通番号)Tel.050-3786-1060 受付時間/月曜日~金曜日9:00~17:40 土曜日10:00~17:00(日・祝日・年末年始を除く)